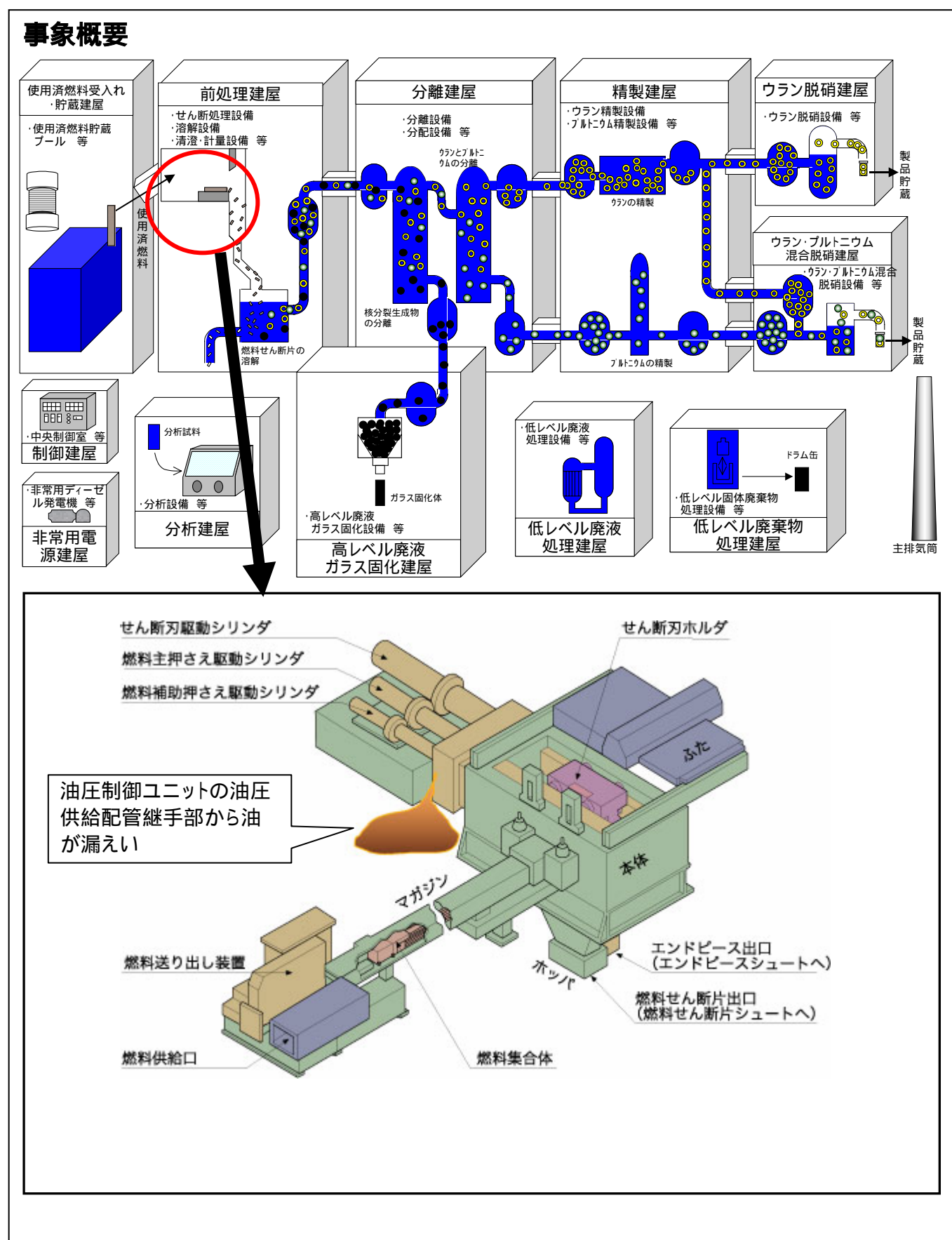


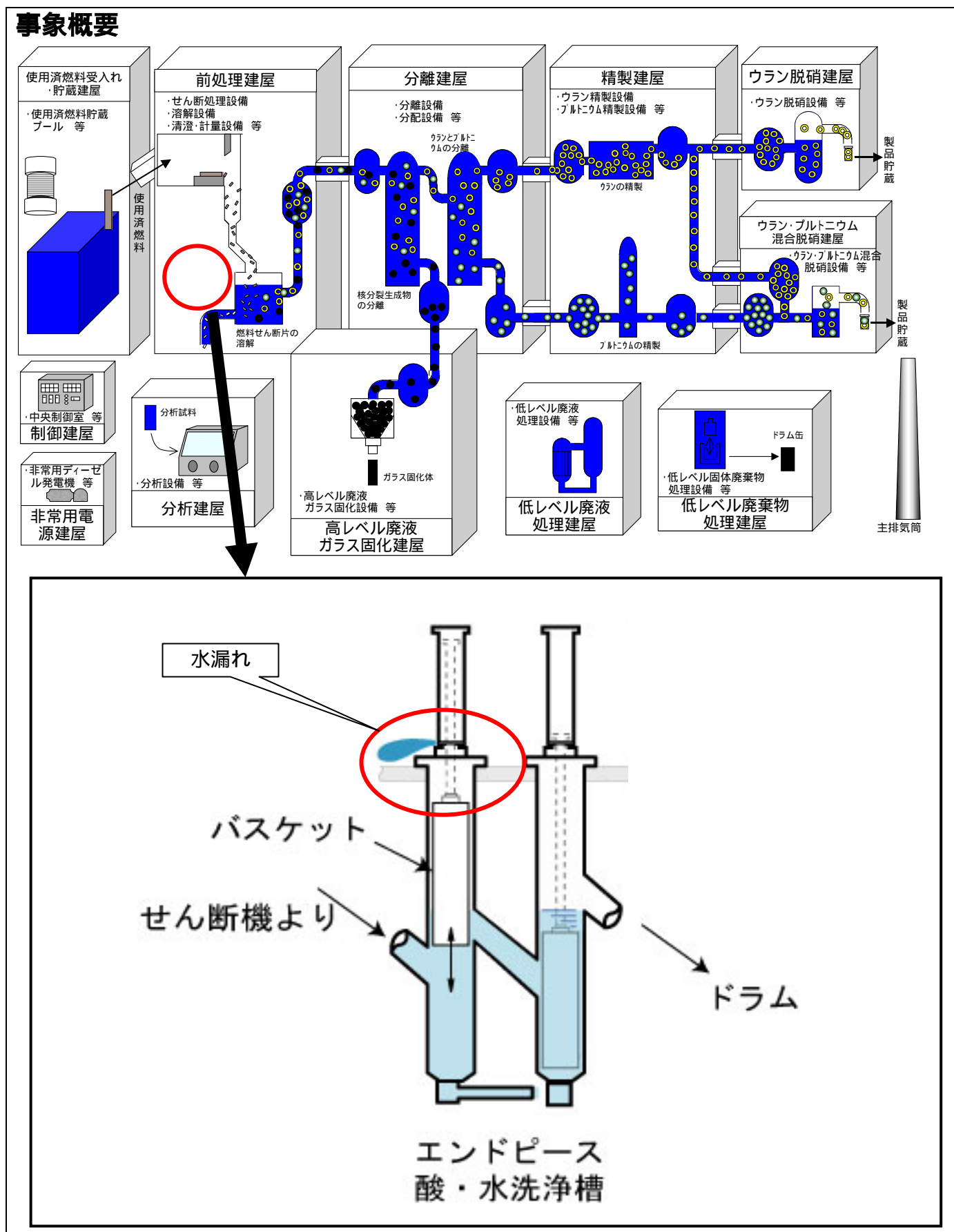
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 1)

<b>件名</b>	せん断機油圧ユニットからの油の漏えい	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: せん断機</p> <p>(2) 発生の状況 せん断機の運転中</p> <p>(3) 概要 せん断機のせん断刃を駆動するための油圧制御ユニットの油圧供給配管継手部から油の漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を含まない油の建屋内漏えいであり、この事象及びそれに伴う復旧作業による工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 放射性物質を含まない油の建屋内漏えいであり、また、巡視等により漏えいを発見し、漏えいした油は定められた手順に従って回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> セル外における放射性物質を取り扱わない復旧作業であるため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> せん断機の停止により、前処理建屋内の溶解槽以降の工程の運転に一時的に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間に設置されている一時的な貯留槽（計量後中間貯槽）の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 漏えいした当該系列のせん断を停止する。</p> <p>(2) 漏えいの原因を調査し、当該系列の油圧制御ユニットの油圧供給配管継手部を保修する。</p>	
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転系統を切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転時監視からの逸脱等 多重防護の劣化</p>



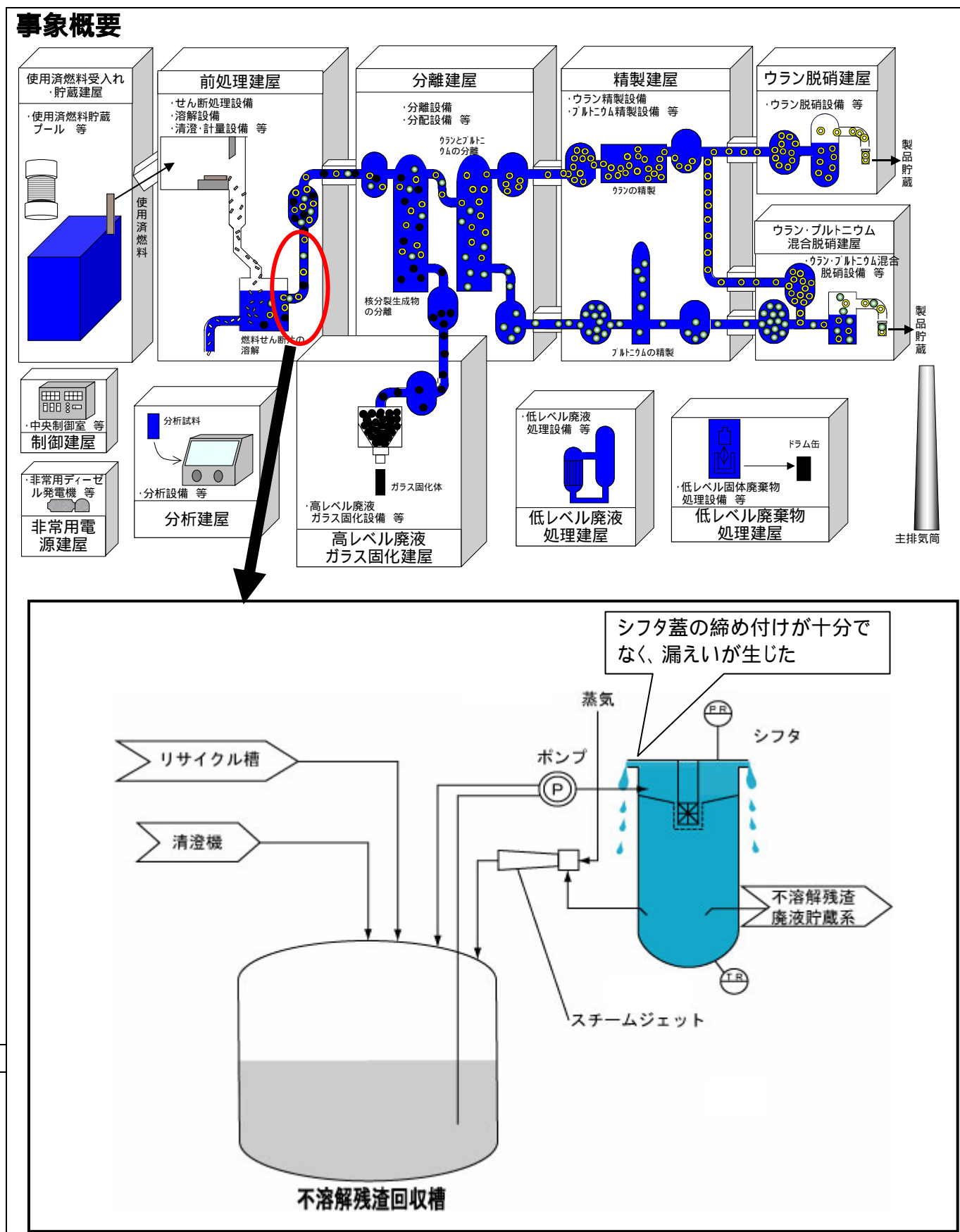
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 2)

<b>件名</b>	エンドピース酸・水洗浄槽水圧ジャッキからの水の漏えい																																							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所・機器 前処理建屋：エンドピース酸・水洗浄槽</p> <p>(2) 発生の状況 エンドピース酸・水洗浄槽の運転中</p> <p>(3) 概要 エンドピース酸・水洗浄槽のバスケット駆動用水圧ジャッキで、水漏れを検知</p>																																							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響はない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 水圧ジャッキの圧力の低下により漏えいを検知し、エンドピース酸・水洗浄槽の停止に伴い、必要に応じて上流のせん断機も停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> エンドピース酸・水洗浄槽の復旧作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> エンドピース酸・水洗浄槽の停止に伴い、上流側のせん断機の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間にある一時的な貯留槽（計量後中間貯槽）の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>																																							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) せん断処理設備・溶解設備の運転を停止する。</p> <p>(2) 水圧ジャッキに関するフランジ部の締付を確認する。</p> <p>(3) ホースコネクション位置からの漏れを確認する。</p> <p>(4) 定められた保守作業手順により適切な保守を行い、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p>																																							
<b>公表区分</b>	翌平日に公表（ホームページへ掲載）																																							
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 20%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 20%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 20%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 20%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td colspan="5" style="text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本原燃による評価:</td> <td colspan="5" style="text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">工場内への影響</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">多重防護の劣化</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない)			放射性物質の外部放出		工場外への影響			日本原燃による評価:	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">工場内への影響</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">多重防護の劣化</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等</td> </tr> </table>					レベル0以下	放射性物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	多重防護の劣化	運転制限範囲からの逸脱等
	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止																																			
国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない)			放射性物質の外部放出		工場外への影響																					
0以下	1	2	3	4	5	6	7																																	
← (レベル2以下は工場外への影響はない)			放射性物質の外部放出		工場外への影響																																			
日本原燃による評価:	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">工場内への影響</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">多重防護の劣化</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等</td> </tr> </table>					レベル0以下	放射性物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	多重防護の劣化	運転制限範囲からの逸脱等																														
レベル0以下	放射性物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	多重防護の劣化	運転制限範囲からの逸脱等																																				



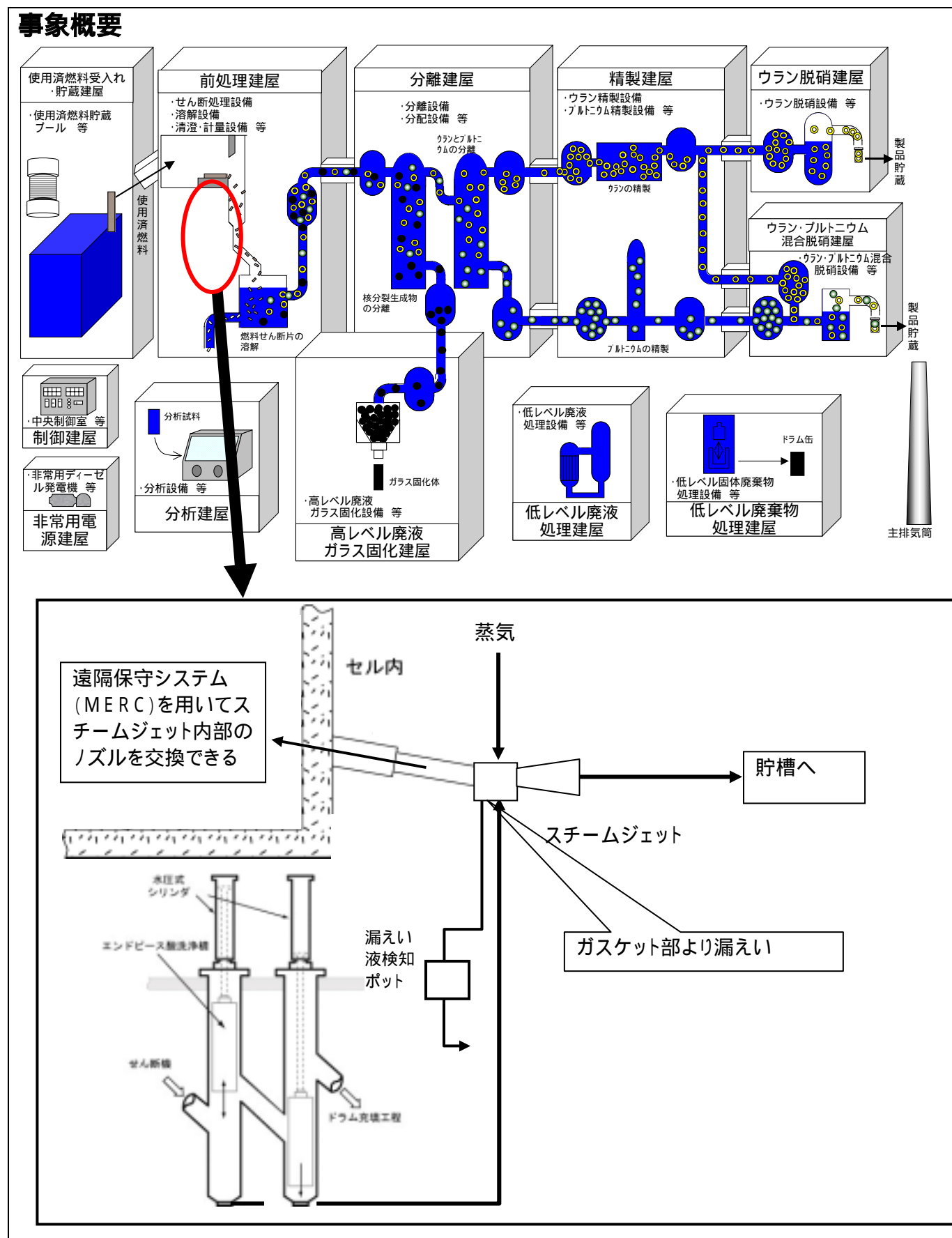
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 3)

<b>件名</b>	清澄・計量設備シフトからの溶液の漏えい										
<b>事象の概要</b>	(1) 発生場所・機器 前処理建屋：清澄・計量設備シフト (2) 発生の状況 点検中 (3) 概要 シフト蓋の締め付けが十分でなかったため、点検時に漏えいが生じていることを確認										
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働しているセル内における事象及びそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働しているセル内での漏えいであり、点検により漏えいを発見し、除染・復旧作業を定められた手順に従い実施することで、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 除染・復旧作業は、セル外からの遠隔操作を行うため、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> シフトの点検中に発見されたトラブルであり、他工程への影響は生じない。										
<b>対応の概要</b>	(1) 漏えい部分の汚染を除去する。 (2) シフトの蓋を適切に取り付ける。										
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)										
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価： <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 運転時影響範囲からの遊離等 多重防護の劣化	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">0以下</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> </tr> </table> 放射性物質の外部放出 工場外への影響 工場内への影響	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7				



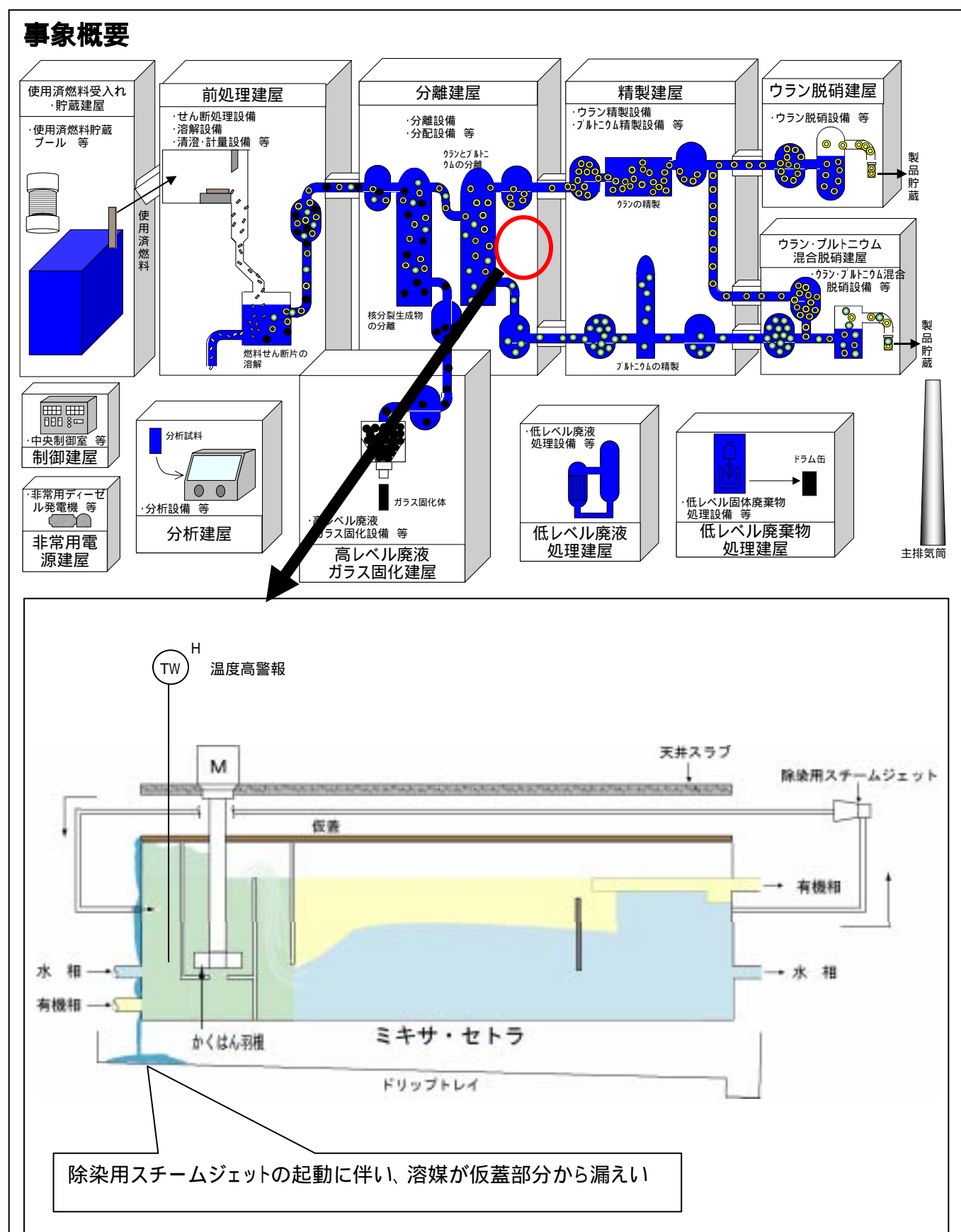
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 4)

<b>件名</b>	エンドピース酸洗浄槽の不溶解残渣回収系からの漏えい						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: エンドピース酸洗浄槽</p> <p>(2) 発生の状況 エンドピース酸洗浄槽の運転停止前の液抜き時</p> <p>(3) 概要 エンドピース酸洗浄槽のスチームジェットからの漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働しているエンドピース酸洗浄槽、スチームジェットでの事象及び前処理建屋換気設備が稼働している室内での遠隔保守システム(MERC)を用いたスチームジェットの復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> スチームジェットの機能不良によりエンドピース酸洗浄槽の運転が支障を受けるが、スチームジェットによる液移送が困難になっても、運転停止前の洗浄液の抜き出し時に使用するものであり、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> スチームジェットのノズル部交換作業は放射性物質に関連した作業ではなく、また、セル外からのMERCを用いた遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> スチームジェットの作動性能が得られず洗浄液の排出ができないため当該機器の運転に影響が生じるが、予備のスチームジェットに交換して運転を継続するので他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) スチームジェットからの漏えいであることを確認する。</p> <p>(2) 定められたスチームジェット保守手順に従い、遠隔保守システム(MERC)を用いてスチームジェットのノズルの交換、保守を行う。</p> <p>(3) 保守交換終了後、作動試験を行い、異常がないことが確認された後、定められた操作手順に従って液抜きを再開する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  0以下 1 2 3 4 5 6 7                  (レベル2以下は工場外への影響はない)             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p>放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転系統を切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							



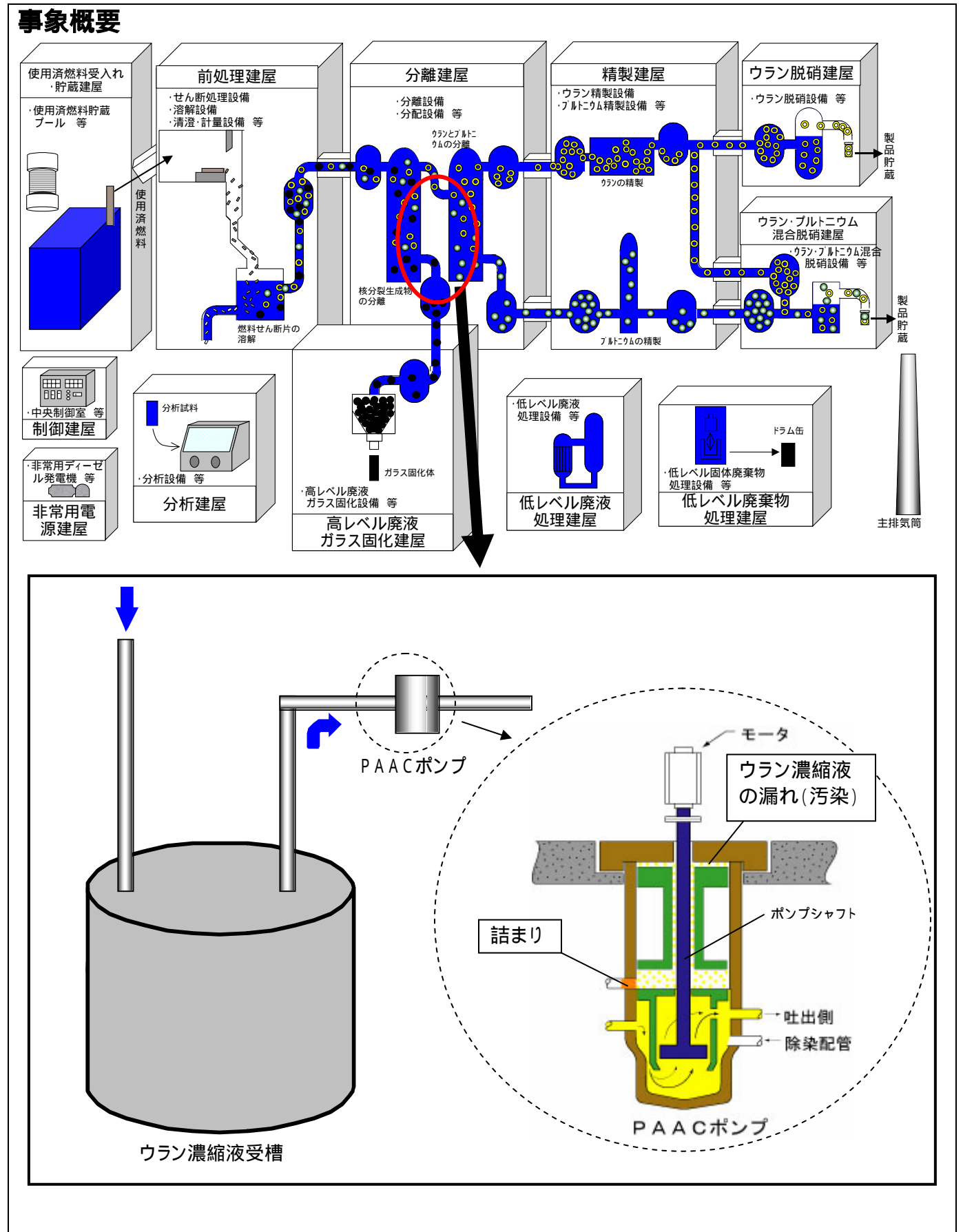
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 5)

<b>件名</b>	ミキサ・セトラ仮蓋からの溶媒の漏えい																																								
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 補助抽出器</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験中</p> <p>(3) 概要 除染用スチームジェットの起動に伴い、溶媒(TBP(リン酸トリブチル)及び希釈剤(ドデカン))液面の振動による、仮蓋からの漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>																																								
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内での漏えいであり、また、漏えいはドリフトレイの液位高の警報等により、温度上昇はミキサ・セトラの温度高の警報により検知し、漏えいした有機溶媒は定められた手順に従って回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えいした液体の回収等の除染・復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 有機溶媒の漏えいに伴い、補助抽出器の運転に影響が生じる。</p>																																								
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 当該スチームジェット及びミキサ・セトラの運転を停止するとともに、当該機器及びドリフトレイの汚染を除去する。</p> <p>(2) ミキサ・セトラとの間に隙間が生じないよう適切に仮蓋を取り付ける。</p> <p>(3) 仮蓋の取り付け状態を確認後、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p> <p style="text-align: center;">アクティブ試験以降は蓋が溶接されているため、同様のトラブルは発生しない。</p>																																								
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																								
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 15%;">(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> <td style="width: 15%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 15%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 15%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                 <table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 (レベル2以下は工場外への影響はない)                 <table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">                 放射能物質の外部放出 工場外への影響                  放射能物質による汚染、被ばく等 工場内への影響                  運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化             </p>		(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止		国際評価尺度 (INES) のレベル <table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7		(レベル2以下は工場外への影響はない) <table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7		日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>				
	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止																																				
	国際評価尺度 (INES) のレベル <table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7																												
0以下	1	2	3	4	5	6	7																																		
	(レベル2以下は工場外への影響はない) <table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7																												
0以下	1	2	3	4	5	6	7																																		
	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>																																								



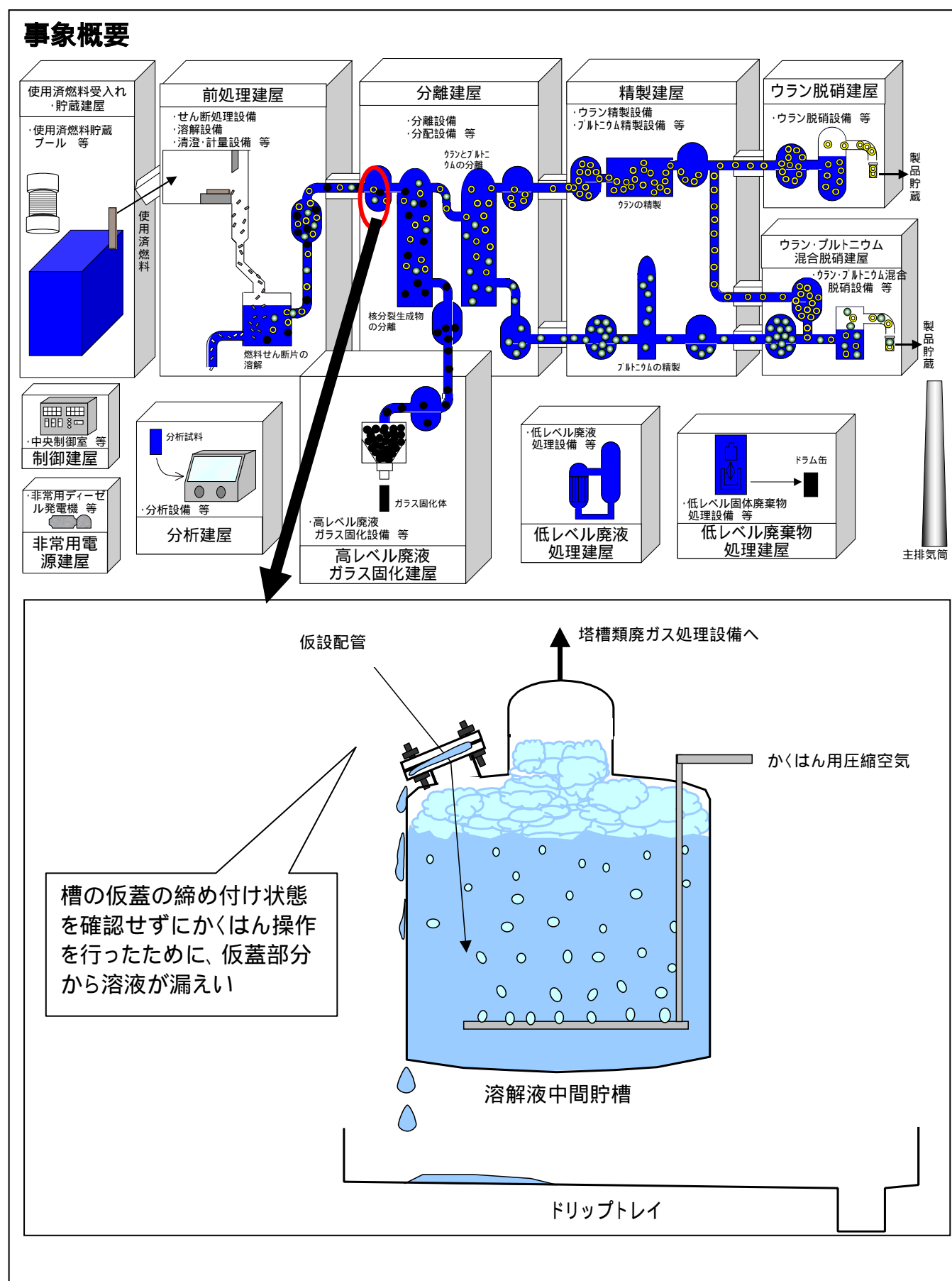
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 6)

<b>件名</b>	ウラン濃縮液移送ポンプからのウラン溶液の漏えい									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所・機器 分離建屋：ウラン濃縮缶濃縮液移送ポンプ</p> <p>(2) 発生の状況 運転中</p> <p>(3) 概要 ウラン濃縮液移送ポンプ内の配管の析出物の詰まりによって、ウラン濃縮液がポンプシャフト沿いに浸出し、コンクリートしゃへの内側が汚染</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内のポンプ及びポンプモータ室で起きた事象及びそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル及び室内での漏えいであり、巡視点検等により漏えいを発見し、定められた手順に従ってウラン濃縮液を回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 移送ポンプの除染・復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 当該ポンプの運転を停止するため、移送ができない影響が生じるが、別系統の移送ポンプがあり、運転を継続するので他工程への影響は生じない。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ポンプ部からの漏えいであることを確認する。作業区域及び作業員の衣服汚染を防止するため、漏えい箇所のサーベイを行い汚染が確認された場所は、除染を作業前に行う。</p> <p>(2) 別系統のポンプを用いて移送する。</p> <p>(3) 漏えい液回収系の閉塞を水、酸などを用いて除去する。また、ポンプ内の放射性物質で汚染した漏えい水を回収、除染する。また、ポンプシャフト部のメカニカルシールを交換する。</p> <p>(4) ポンプの修復後、作動試験を行い漏えいの有無を確認して、定められた操作手順に従い当該ポンプの運転を再開する。</p>									
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)      放射性物質の外部放出      工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>      放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響</p> <p>運転時障害原因からの選別等      多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			



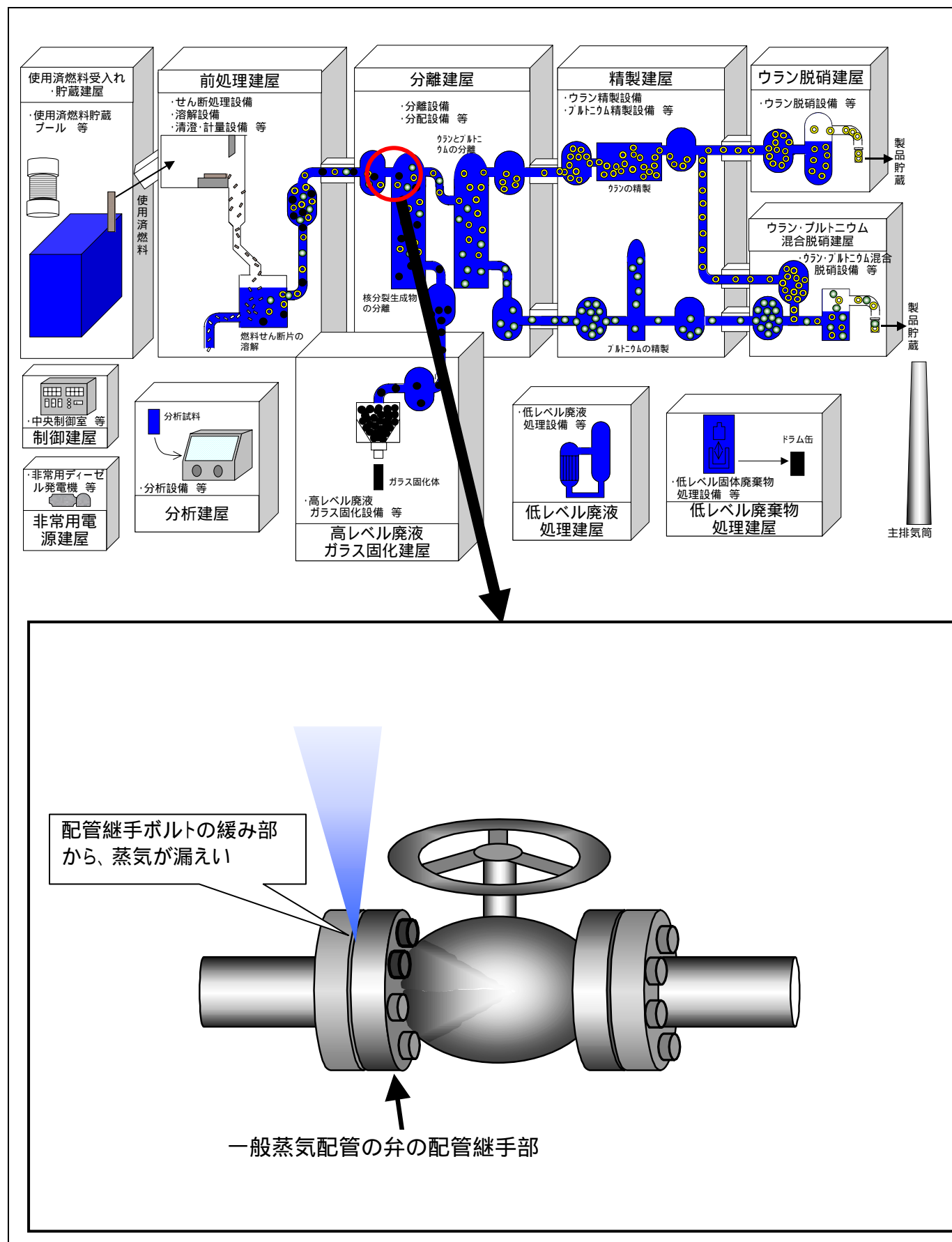
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 7)

<b>件名</b>	溶解液中間貯槽の仮蓋からのウラン溶液の漏えい	
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 溶解液中間貯槽 (分離設備)</p> <p>(2) 発生の状況 運転中</p> <p>(3) 概要 槽の仮蓋の締め付け状態及び槽の液量を確認しないままのかくはん操作による、仮蓋部分から溶液が漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の作業においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p> <p>ウラン試験終了後に本設の蓋が溶接されるため、アクティブ試験以降は同様のトラブルは起きない。</p>	
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼動しているセル内での事象及びそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼動しているセル内での漏えいであり、また、巡視点検、ドリフトレイ液位高警報等により漏えいを発見(又は検知)し漏えいした溶液は定められた手順に基づき回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えいした液体の回収等の除染・復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 溶液の漏えいに伴い、分離工程の運転に影響が生じる。さらに、上流、下流の前処理建屋、精製建屋の工程は、その中間に設置されている一時的な貯留槽(上流: 計量後中間貯槽、下流: ウラン濃縮液受槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>	
<b>対応の概要</b>	<p>(1) かくはん操作を停止するとともにセル内を拭き取り、汚染を除去する。</p> <p>(2) 仮蓋取り付けボルトの締め付け状態を確認し、増し締めを行う。</p> <p>(3) 仮蓋の取り付け状態を確認後、手順に従いウラン試験を再開する。</p>	
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転系統を切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</span> </p> <p>放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>多重防護の劣化 運転制限範囲からの逸脱等</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p>



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 8)

<b>件名</b>	蒸気設備の蒸気配管からの蒸気の漏えい																																								
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 蒸気配管</p> <p>(2) 発生の状況 蒸気設備の運転中</p> <p>(3) 概要 蒸気設備のヘッダの配管継手ボルトの緩み部からの蒸気漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>																																								
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を含まない蒸気の建屋内の事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響はない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 一般蒸気は安全上の目的に使用していないため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 放射性物質を含まない蒸気の漏えいであり、放射性物質による汚染、被ばくなどの影響は生じない。ただし、高温高圧の蒸気を多量に取扱う設備でのトラブルのため、作業員は火傷防止のための安全保護具などを着用し、定められた保守作業手順に従い作業を行うことで、作業員への一般災害への影響を防止する。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない、または上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 巡視点検、蒸気圧力の低下等により漏えいを発見(又は検知)し、多重化された蒸気供給系での漏えいの場合、システムを切り替えることにより、他工程への影響は生じない。多重化されていない部分では、当該部分につながる設備の運転に影響が生じる場合がある。</p>																																								
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 加熱蒸気系の配管継手部から蒸気が漏れていることを確認する。</p> <p>(2) 蒸気供給バルブを閉じて蒸気供給を停止する。配管継手、配管、バルブなど関連設備の破損状況を調査、確認する。</p> <p>(3) 多重化された蒸気系では、システムを切り替えて運転する。</p> <p>(4) 破損した配管継手のパッキン、締め付けボルトなど定められた保守作業手順に従って交換、保守を行い、正常に保守が完了したことを確認するため、蒸気を用いた暖気運転を行い異常がないことを確認した後に正常運転に復帰させる。</p>																																								
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																								
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 15%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 15%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 15%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 15%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> <tr> <td>国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td colspan="5" style="text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">放射物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価:</td> <td colspan="5" style="text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">放射物質による汚染、被ばく等</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">工場内への影響</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">多重防護</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">運転時限理由からの対応等</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">の強化</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">放射物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない)		放射物質の外部放出			工場外への影響			日本原燃による評価:	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">放射物質による汚染、被ばく等</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">工場内への影響</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">多重防護</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">運転時限理由からの対応等</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">の強化</td> </tr> </table>					レベル0以下	放射物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	多重防護	運転時限理由からの対応等	の強化
	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止																																				
国際評価尺度 (INES) のレベル	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">放射物質の外部放出</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> </table>					0以下	1	2	3	4	5	6	7	← (レベル2以下は工場外への影響はない)		放射物質の外部放出			工場外への影響																						
0以下	1	2	3	4	5	6	7																																		
← (レベル2以下は工場外への影響はない)		放射物質の外部放出			工場外への影響																																				
日本原燃による評価:	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">レベル0以下</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">放射物質による汚染、被ばく等</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">工場内への影響</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">多重防護</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">運転時限理由からの対応等</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">の強化</td> </tr> </table>					レベル0以下	放射物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	多重防護	運転時限理由からの対応等	の強化																														
レベル0以下	放射物質による汚染、被ばく等	工場内への影響	多重防護	運転時限理由からの対応等	の強化																																				





## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 9)

<b>件名</b>	10N 硝酸貯槽ポンプからの硝酸の漏えい									
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 10N 硝酸貯槽ポンプ</p> <p>(2) 発生の状況 保守中</p> <p>(3) 概要 硝酸を移送するポンプを保守するため、当該ポンプの配管継ぎ手部を取り外す作業中、配管内に溜まっていた硝酸が流出</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>									
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 放射性物質を含まない硝酸の建屋内漏えいであり、この事象及びそれに伴う復旧作業により放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 放射性物質を含まない硝酸の建屋内漏えいであり、また、定められた手順に従って漏えいした硝酸を回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 放射性物質を取り扱わない復旧作業であるため、作業員へ影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 保守時における事象であり、他工程への影響は生じない。</p>									
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 当該配管が接続配管から隔離されていることを確認する。</p> <p>(2) 配管内の液抜き及び流出した硝酸の回収を行う。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順により、ポンプの保守を再開する。</p>									
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)									
<b>対応区分</b>	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <table style="text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td> </tr> </table> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部防出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの漏洩等 多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
0以下	1	2	3	4	5	6	7			

### 事象概要

使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、使用済燃料貯蔵プール等、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、製品貯蔵、中央制御室等制御建屋、分析建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋、低レベル廃液処理建屋、低レベル廃棄物処理建屋、非常用ディーゼル発電機等非常用電源建屋、分析試料、分析設備等、ガラス固化体、高レベル廃液ガラス固化設備等、ウラン・プルトニウムの分離、ウラン・プルトニウムの精製、ウラン脱硝設備等、ウラン・プルトニウム混合脱硝設備等、ドラム缶、低レベル固体廃棄物処理設備等、主排気筒

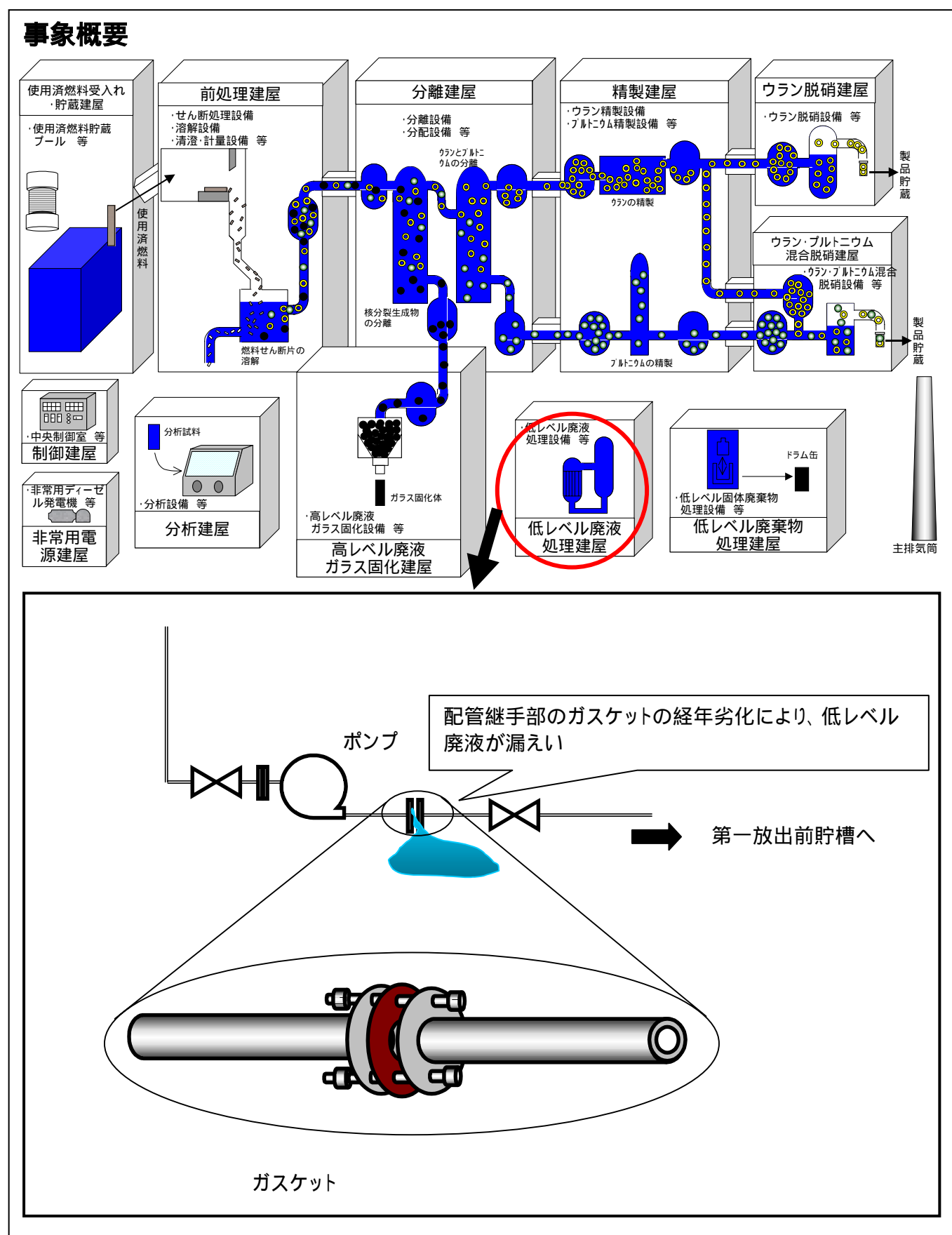
ポンプ モーター

硝酸を移送するポンプを保守するため、当該ポンプの配管継ぎ手部を外したところ、配管内に溜まっていた硝酸が流出した。

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

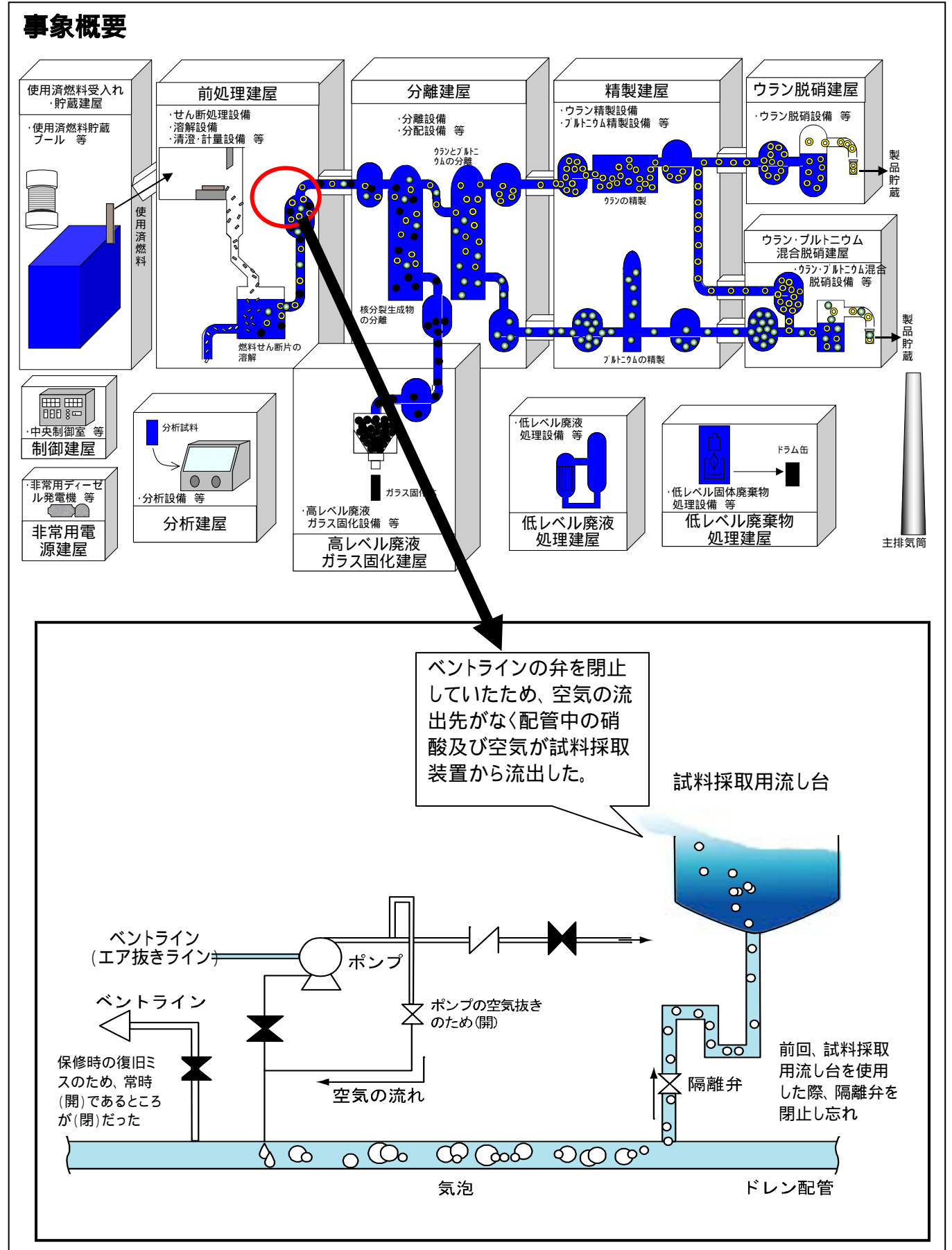
## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 10)

<b>件名</b>	放出前貯槽への移送中における配管継手からの低レベル廃液の漏えい							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所・機器 低レベル廃液処理建屋・第一放出前貯槽への移送用配管</p> <p>(2) 発生の状況 低レベル廃液の移送中</p> <p>(3) 概要 配管継手(フランジ)部のガスケットの経年劣化による漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 低レベル廃液処理建屋換気設備が稼働している室内における事象及びそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 低レベル廃液処理建屋換気設備が稼働している室内での漏えいであり、また、巡視点検により漏えいを発見し、漏えいした低レベル廃液は定められた手順に従って回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えいした液体の回収等の除染・復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 漏えい箇所の復旧に伴い、当該配管の液移送は停止するが、他の工程の運転は予備系列の有無、その中間にある一時的な貯留槽の残液量で継続の可否を判断する。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 当該配管の液移送を停止し、漏えい液を安全に回収する。</p> <p>(2) 当該フランジ部ボルトの適切な締め付けを行う。または、ガスケットの交換を行う。</p> <p>(3) 当該フランジ復旧後、耐圧試験等を行い、健全性を確認した後、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p> <p>(4) 上記対応に長期間を要する場合は、予め定められた手順に従い別系統に切り替えて運転を再開する場合もある。</p>							
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>0以下</span> <span>1</span> <span>2</span> <span>3</span> <span>4</span> <span>5</span> <span>6</span> <span>7</span> </div> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射線物質の外部防出</p> <p>工場外への影響</p> </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>0以下</span> <span>1</span> <span>2</span> <span>3</span> <span>4</span> <span>5</span> <span>6</span> <span>7</span> </div> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射線物質の外部防出</p> <p>工場外への影響</p>	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	<p>日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b></p> <p>放射線物質による汚染、被ばく等</p> <p>工場内への影響</p> <p>多重防護の劣化</p> <p>運転制御範囲からの逸脱等</p>
(a) 運転継続しながら復旧	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>0以下</span> <span>1</span> <span>2</span> <span>3</span> <span>4</span> <span>5</span> <span>6</span> <span>7</span> </div> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射線物質の外部防出</p> <p>工場外への影響</p>							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 11)

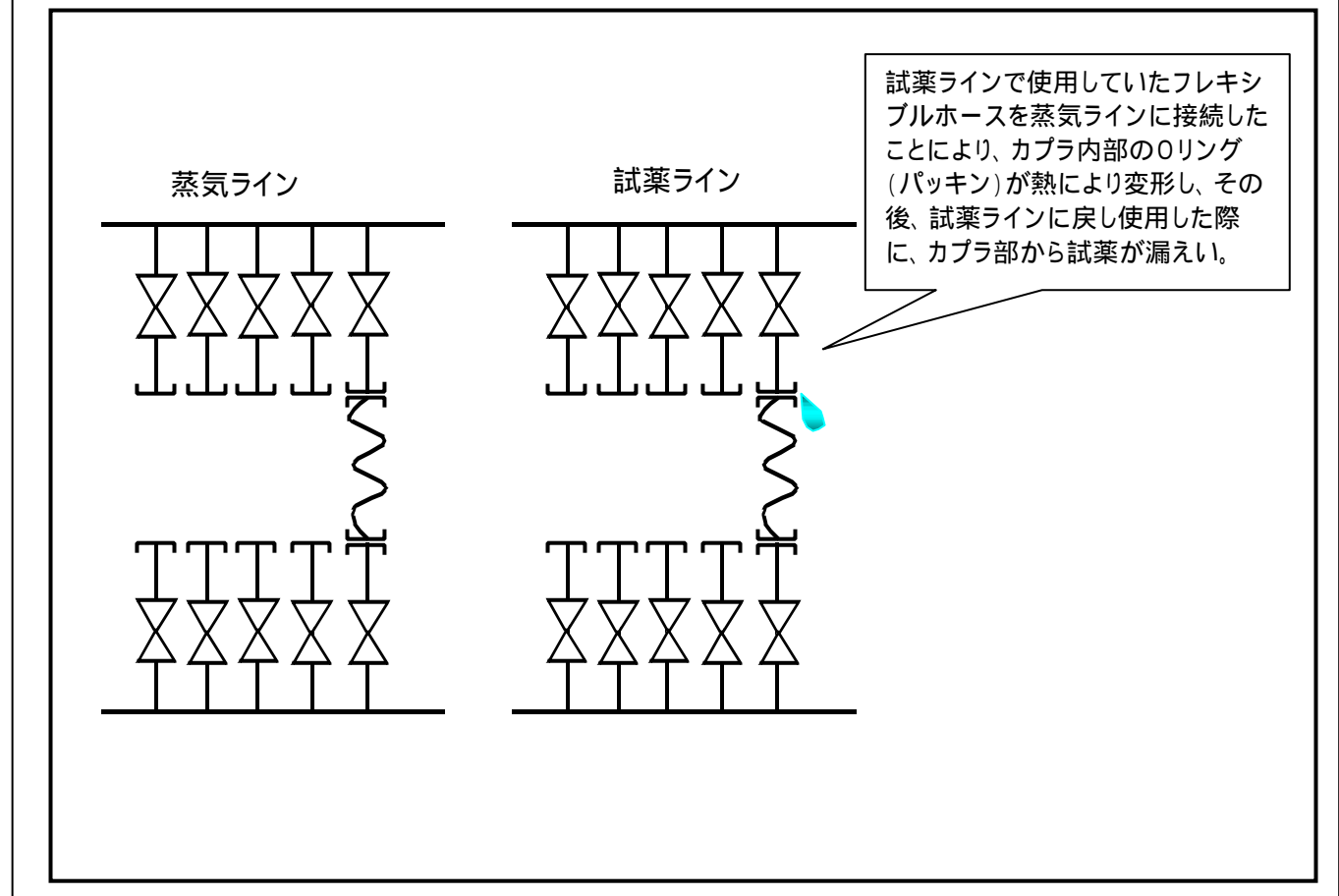
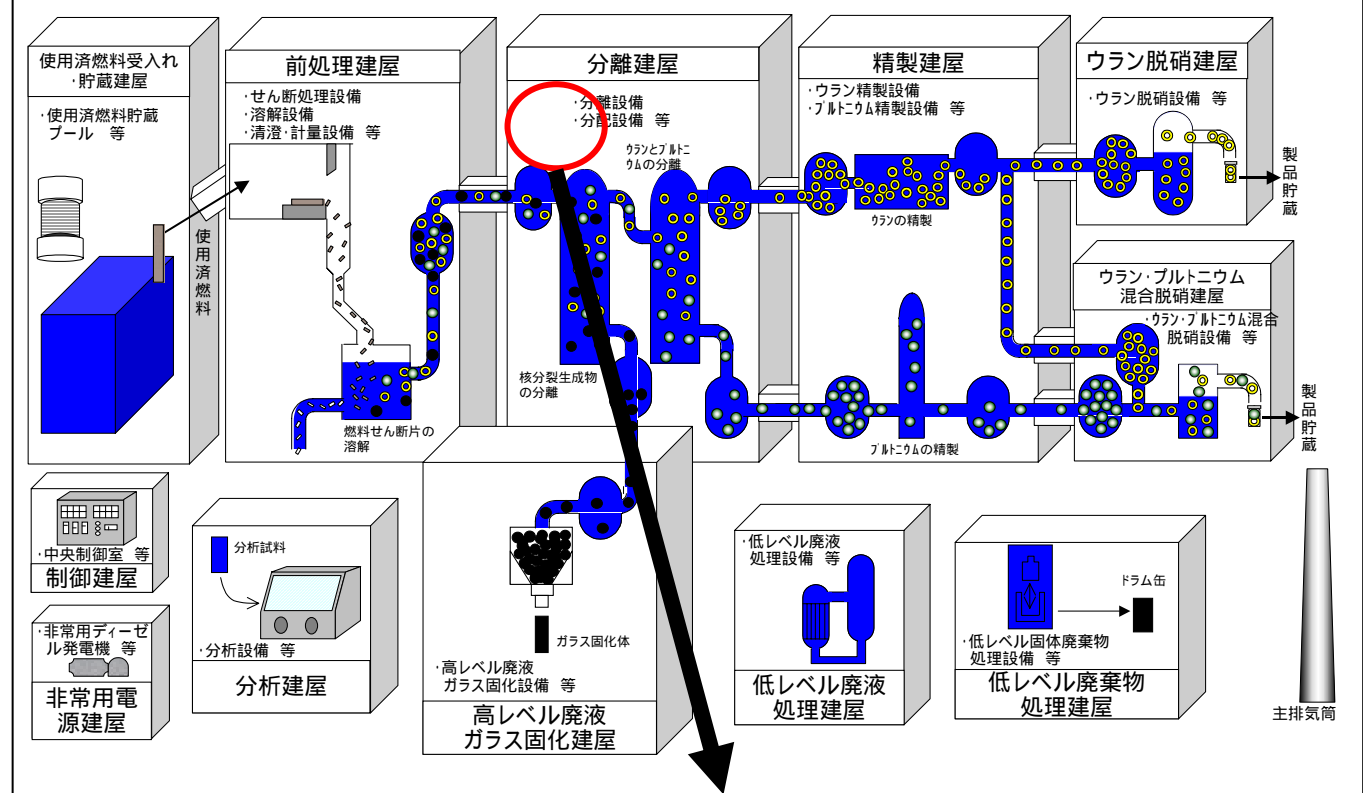
<b>件名</b>	試料採取用流し台からの硝酸の漏えい																														
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: アクティブ試薬設備</p> <p>(2) 発生の状況 アクティブ試薬設備運転準備中</p> <p>(3) 概要 ポンプ保守作業後の確認運転において、ポンプの空気抜き作業を行ったところ、本来、開けておかなければならないベントライン(エア抜きライン)の弁を閉止していたため、空気の流出先がなくなり、放射性物質を内包しない配管中の硝酸及び空気が、低い位置にあり開放となっている試料採取用流し台からごく少量流出</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様の事象の発生が予想される。</p>																														
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 除染・復旧作業を定められた手順に従い実施することで、試料採取用流し台から流出した硝酸は、拭き取り及び除染を行うことにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 硝酸の拭き取り及び復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 硝酸が流出した試料採取用流し台及び硝酸が飛散した計器類は一時的に使用できなくなるが、通常は使用しないため、他工程への影響は生じない。</p>																														
<b>対応の概要</b>	<p>(1) ポンプを停止する。</p> <p>(2) ベントラインの弁を開放する。</p> <p>(3) 定められた作業計画に従って流出した硝酸の拭き取り、硝酸が飛散した計器類を交換及び床・壁の再塗装を行う。</p> <p>(4) ポンプ起動時の弁開閉手順を確立する。</p>																														
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																														
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 15%;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> <td></td> <td style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> <td style="text-align: center;">放射性物質の外部放出</td> <td style="text-align: right;">工場外への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td>日本原燃に</td> <td></td> <td style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等</td> <td style="text-align: right;">工場内への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">運転時・保守時からの逸脱等</td> <td style="text-align: right;">多重防護の劣化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td>よる評価:</td> <td colspan="3" style="text-align: center;"><b>レベル0以下</b></td> </tr> </table>		(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル	0以下 1 2 3 4 5 6 7				(b) 運転系統を切り替えて復旧		← (レベル2以下は工場外への影響はない) →	放射性物質の外部放出	工場外への影響		(c) 当該機器を停止して復旧	日本原燃に		放射性物質による汚染、被ばく等	工場内への影響		(d) 当該設備を停止して復旧			運転時・保守時からの逸脱等	多重防護の劣化		(e) 影響範囲の設備を停止	よる評価:	<b>レベル0以下</b>		
	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル	0以下 1 2 3 4 5 6 7																												
	(b) 運転系統を切り替えて復旧		← (レベル2以下は工場外への影響はない) →	放射性物質の外部放出	工場外への影響																										
	(c) 当該機器を停止して復旧	日本原燃に		放射性物質による汚染、被ばく等	工場内への影響																										
	(d) 当該設備を停止して復旧			運転時・保守時からの逸脱等	多重防護の劣化																										
	(e) 影響範囲の設備を停止	よる評価:	<b>レベル0以下</b>																												



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 12)

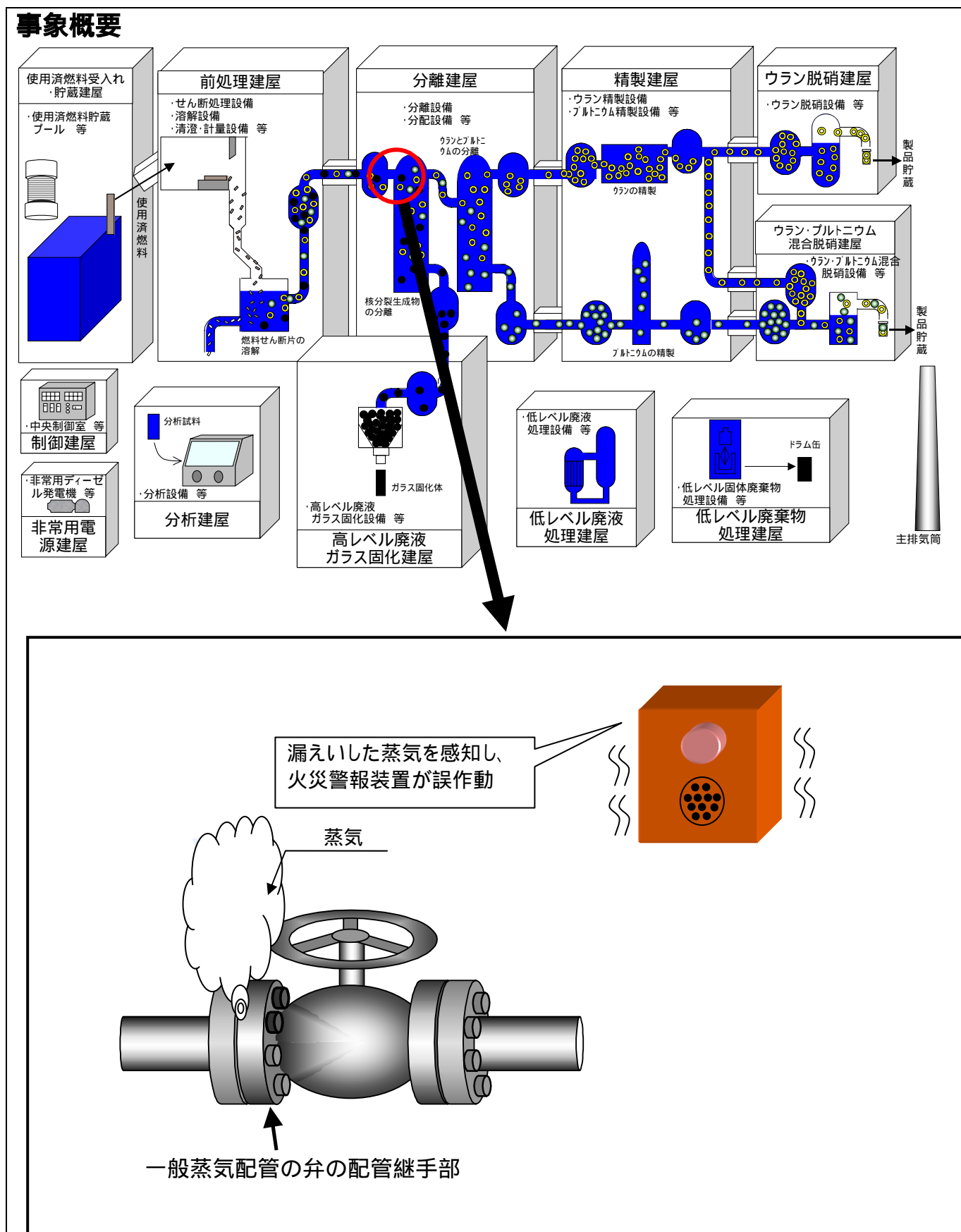
<b>件名</b>	フレキシブルホースの誤使用によるカブラ部からの漏えい																																													
<b>事象の概要</b> (1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	<p>分離建屋: 除染試薬設備フレキシブルホース</p> <p>除染試薬設備運転中</p> <p>試薬取扱い系統で使用していたフレキシブルホースを、蒸気を通気する配管に誤って接続したことにより、接続部内部の耐熱性を有していないOリング(パッキン)が熱により変形し、その後、Oリングの変形に気付かぬまま試薬取扱い系統に戻し使用した際に、カブラ部から試薬が漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。</p>																																													
<b>事象による影響</b> (1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	<p><b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う交換作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> 試薬の漏えい確認後、直ちに試薬取扱い系統の弁を閉めることにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 接合部の交換作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> フレキシブルホースの接合部を交換し取り付けることで、他工程への影響は生じない。</p>																																													
<b>対応の概要</b>	<p>(1) フレキシブルホースの元弁を閉止し、Oリングの変形した原因がフレキシブルホースを蒸気を通気する配管で使用したものであることを確認する。</p> <p>(2) フレキシブルホースを取り外し、接合部のOリングを交換する。</p> <p>(3) フレキシブルホースを取り付け、接合部からの漏えいがないことを確認する。</p>																																													
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																													
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0以下</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>国際評価尺度 (INES)のレベル</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">← (レベル2以下は工場外への影響はない) →</td> </tr> <tr> <td>日本原燃による評価: レベル0以下</td> <td colspan="8" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出 工場外への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="8" style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="8" style="text-align: center;">運転時等からの漏洩等 多重防護の劣化</td> </tr> </table>		0以下	1	2	3	4	5	6	7	国際評価尺度 (INES)のレベル	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →								日本原燃による評価: レベル0以下	放射性物質の外部放出 工場外への影響									放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響									運転時等からの漏洩等 多重防護の劣化							
	0以下	1	2	3	4	5	6	7																																						
国際評価尺度 (INES)のレベル	← (レベル2以下は工場外への影響はない) →																																													
日本原燃による評価: レベル0以下	放射性物質の外部放出 工場外への影響																																													
	放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響																																													
	運転時等からの漏洩等 多重防護の劣化																																													

### 事象概要



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 13)

<b>件名</b>	蒸気の漏えいに伴う火災警報装置の作動	
<b>事象の概要</b>	分離建屋：火災感知器 蒸気設備の運転中 非放射性的の蒸気配管のフランジ部から漏えいたした蒸気を火災感知器が感知し、火災警報が作動 ＊他の建屋も含め同種の機器においても、同様な火災警報装置の作動が予想される。	
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している室内での火災感知器の作動及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響はない。	
<b>安全性への影響</b>	<b>安全上の問題は生じない。</b> 火災警報の作動は、運転に直接関係するものではなく、また、一般蒸気は安全上の目的に使用していないため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。	
<b>作業員への影響</b>	<b>作業員への影響は生じない。</b> 火災警報の復旧は放射性物質に関連した作業ではなく、また、漏えいは放射性物質を含まない蒸気であり、放射性物質による汚染、被ばくなどの影響は生じない。ただし、高温高压の蒸気を多量に取扱う設備でのトラブルのため、作業員は火傷防止のための安全保護具などを着用し、定められた保守作業手順に従い作業を行うことで、作業員への一般災害への影響を防止する。	
<b>他工程への影響</b>	<b>他工程への影響は生じない、または上流、下流の工程の運転に影響が生じる。</b> 火災警報の作動は、運転に直接関係するものではなく、他工程への影響はない。また、予備供給系統を有する蒸気供給系での漏えいの場合、システムを切り替えることにより、他工程への影響は生じない。また、予備供給系統を有しない部分では、当該部分につながる設備の運転に影響が生じる場合がある。	
<b>対応の概要</b>	(1) 火災警報が作動した区域の点検を行い、蒸気系の配管継手部から蒸気が漏れていることを確認し、火災警報装置は実火災による作動ではなく蒸気による作動であることを確認する。 (2) 蒸気供給弁を閉じて蒸気供給を停止する。配管継手、配管、弁など関連設備の破損状況を調査、確認する。 (3) 破損した配管継手のパッキン、締め付けボルトなど定められた保守作業手順に従って交換、保守を行い、正常に保守が完了したことを確認するため、蒸気を用いた運転を行い異常がないことを確認した後に正常運転に復帰させる。なお、予備供給系統を有する蒸気系では、システムを切り替えて運転する場合もある。	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 0以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射物質の外部放出 工場外への影響 日本原燃による評価: レベル0以下 放射物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化

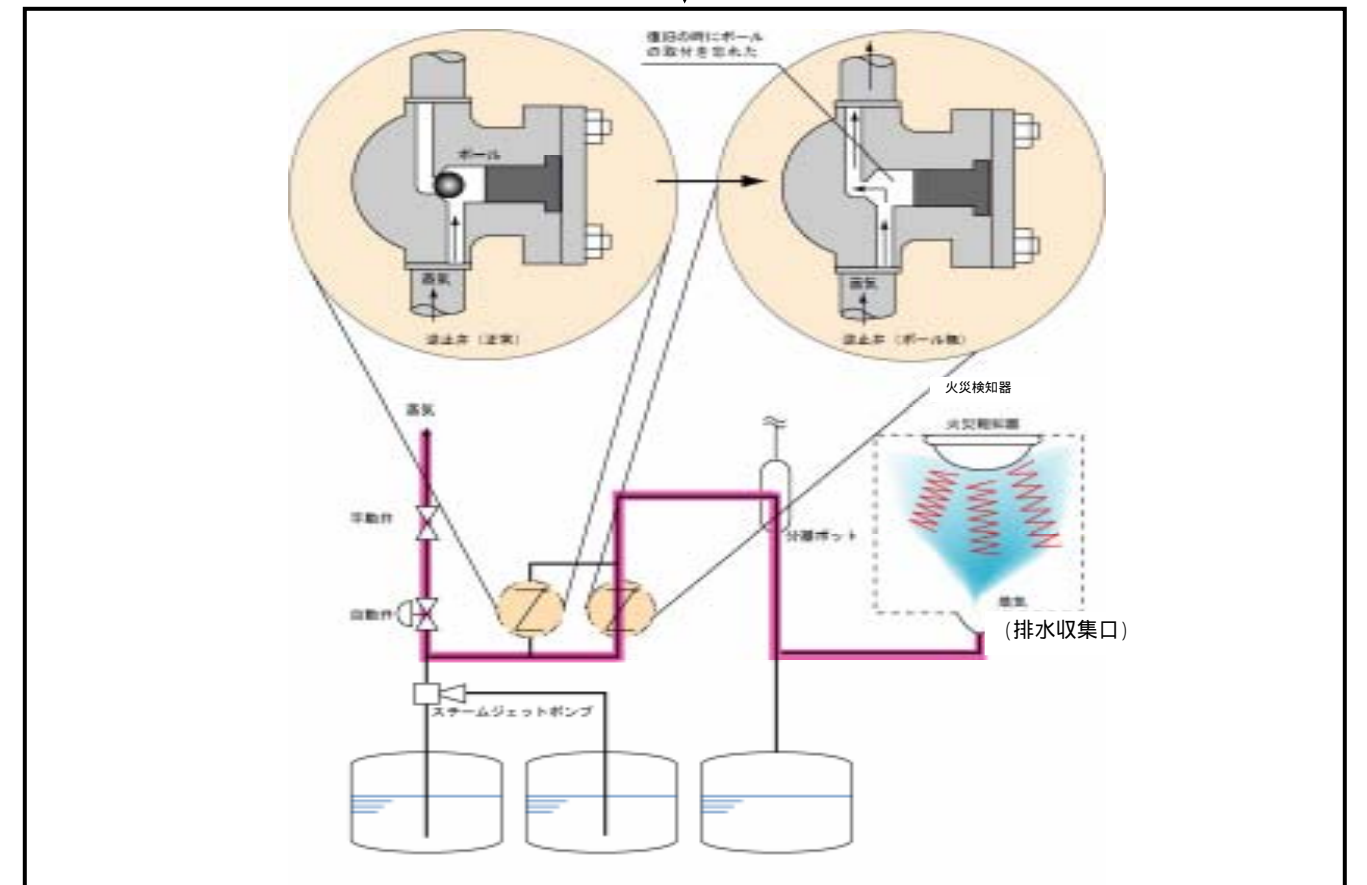
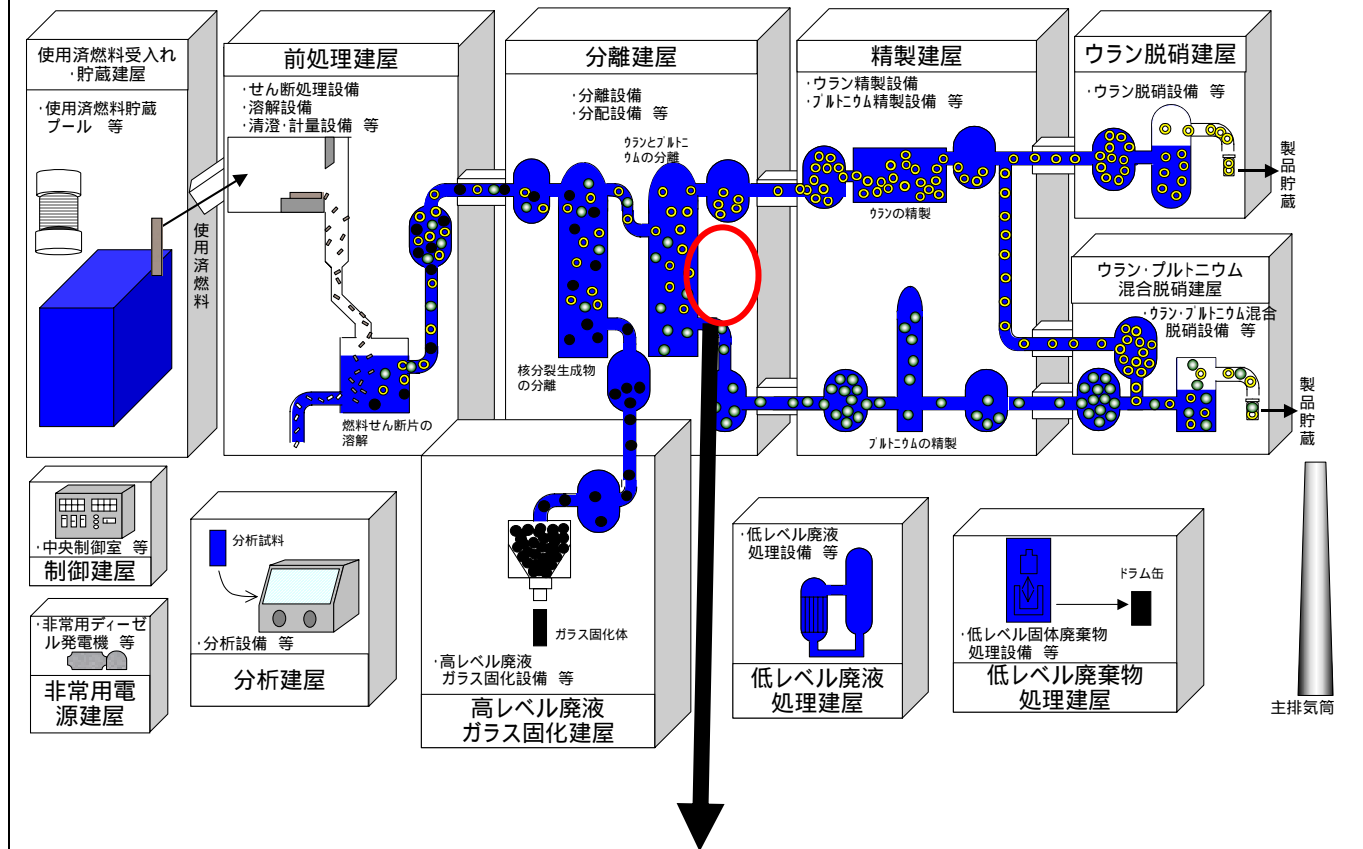


## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 14)

<b>件名</b>	逆止弁の内部構造物の復旧ミスによる蒸気漏えい	
<b>事象の概要</b>	(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 第1酸回収工程 (2) 発生状況 改造工事後の確認運転中 (3) 概要 逆止弁の内部構造物が無いことに気づかず、スチームジェットへ蒸気を通気したため、通常逆止弁で止まる蒸気が分離ポットを介してファンネル(排水収集口)から噴出し、火災感知器が感知し、火災警報装置が作動 *他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。	
<b>事象による影響</b>	(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 逆止弁の内部構造物が無いまま蒸気を通気した場合、分離ポットにて“温度高”警報が発報し、蒸気の供給を停止するので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 放射性物質を含まない蒸気の漏えいであり、ファンネルから噴出する蒸気は、温度が低いため作業員への影響は生じない。 また、逆止弁の復旧作業にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 改造工事後の確認運転中に発生した事象であるため、他工程への影響は生じない。	
<b>対応の概要</b>	(1) 火災警報装置は実火災による作動ではなく蒸気による作動であることを確認する。 (2) スチームジェットへの蒸気の供給を停止する。 (3) 定められた保守作業手順に従って、逆止弁の保守を行う。 (4) 保守終了後、逆止弁の作動確認を行い、異常のない場合は、定められた操作手順により運転を再開する。	
<b>公表区分</b>	毎月集約して月1回公表(ホームページ掲載)	
<b>対応区分</b>	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時監視範囲からの逸脱等 多重防護の劣化

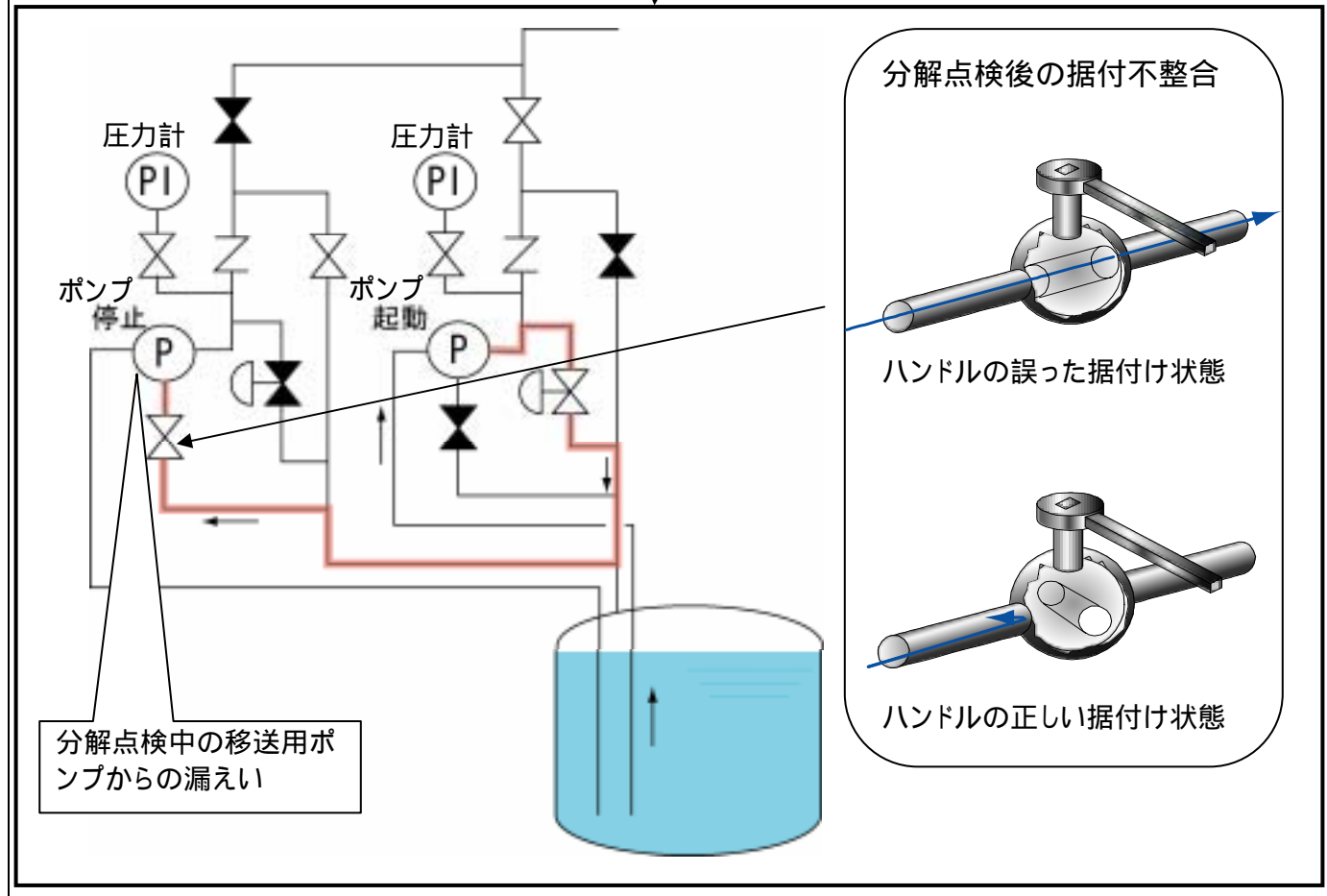
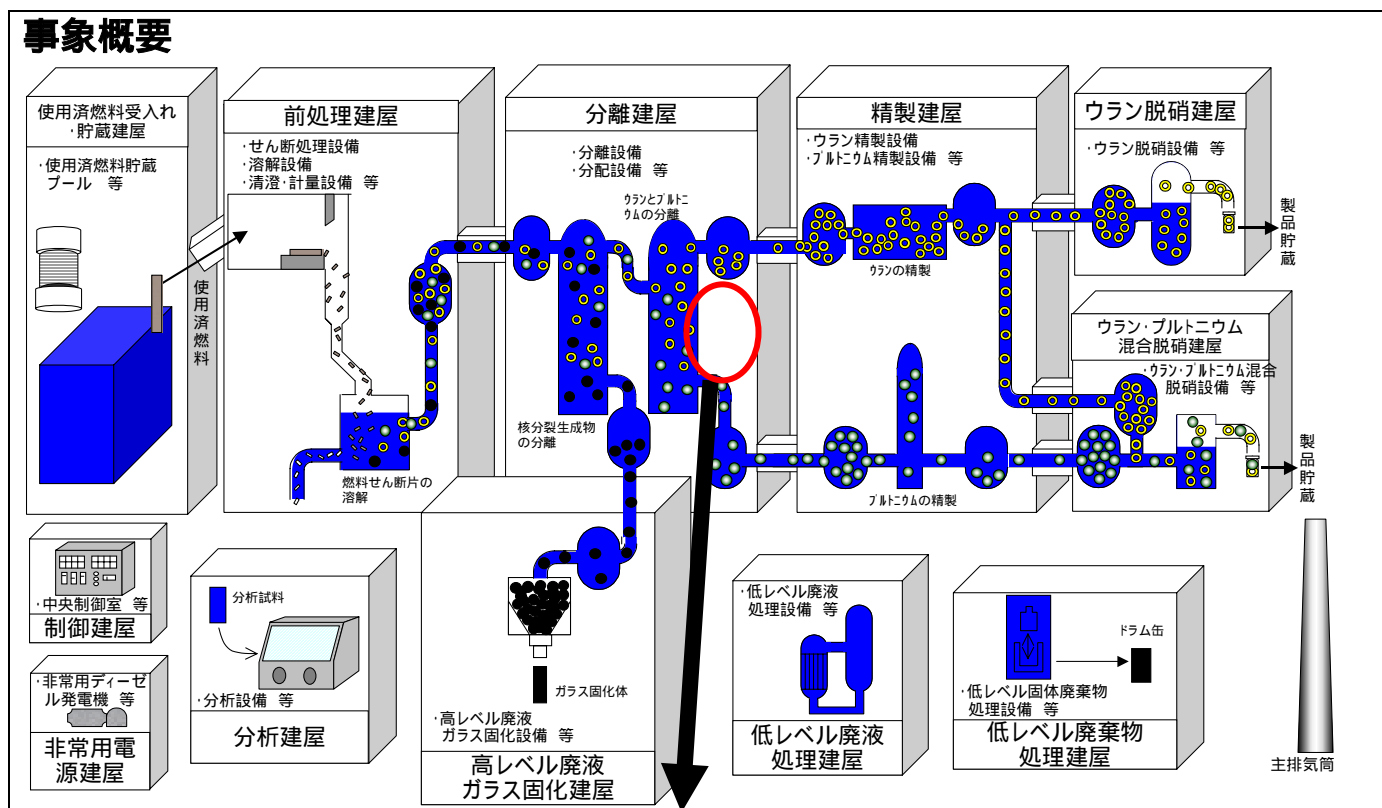
本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したもので対応区分該当なし。

### 事象概要



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 15)

<b>件名</b>	弁ハンドルの取付間違いによる回収酸溶液の漏えい
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: アクティブ試薬設備</p> <p>(2) 発生の状況 分解点検後の確認運転中</p> <p>(3) 概要 弁の分解点検後に弁ハンドルの取付を間違えたことにより、導通した配管を閉止された配管と誤認識したため、他の移送用ポンプ(分解点検中)からの回収酸溶液が作業エリア内で漏えい</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備および分離建屋換気設備が稼働している系統および室内での事象ならびにそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 直ちに当該設備の弁を閉止するので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えいした液体の回収等の除染・復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進める事により、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 分解点検後の確認運転中に発生した事象であるため、他工程への影響は生じない。</p>
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染区域を設定し、一時的に人の立ち入りを制限する。</p> <p>(2) 周辺の汚染状況を確認、把握した後、復旧作業計画(手順)などに従って、汚染除去を行う。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順に従い、弁の据付不整合を修理する。</p>



公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	0以下 1 2 3 4 5 6 7
	(c) 当該機器を停止して復旧	← (レベル2以下は工場外への影響はない) → 放射性物質の外部放出 工場外への影響
	(d) 当該設備を停止して復旧	日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響
	(e) 影響範囲の設備を停止	運転時制限からの逸脱等 多重防護の劣化

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 16)

<b>件名</b>	機器分解点検での対象機器間違いによる内包液等の漏えい							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: ポンプ等</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験期間中設備点検時</p> <p>(3) 概要 ポンプ等の分解点検を行う際、分解されている機器の間違い(確認ミス)により当該分解点検機器に対する隔離がなされないまま、分解をしたところ、内包している放射性の液体が漏えい</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋の換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 漏えい確認後、直ちにポンプの運転を停止するとともに弁を閉める(隔離する)ことにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えい箇所の復旧作業は定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 設備点検時に発生した事象であるため、他工程への影響は生じない。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 漏えい液の発生箇所及び漏えいの状況を確認する。</p> <p>(2) 漏えいが生じている機器の運転を一時停止し、定められた作業計画(安全管理・放射線管理を考慮した保守手順書や適切な防護装備の着用)に従い、漏えい箇所の復旧を実施する。</p> <p>(3) 漏えい復旧箇所に異常のないことを確認した後、予め定められた手順書に従い運転を再開する。</p>							
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5">                     国際評価尺度 (INES) のレベル                       日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>							
(b) 運転システムを切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

### 事象概要

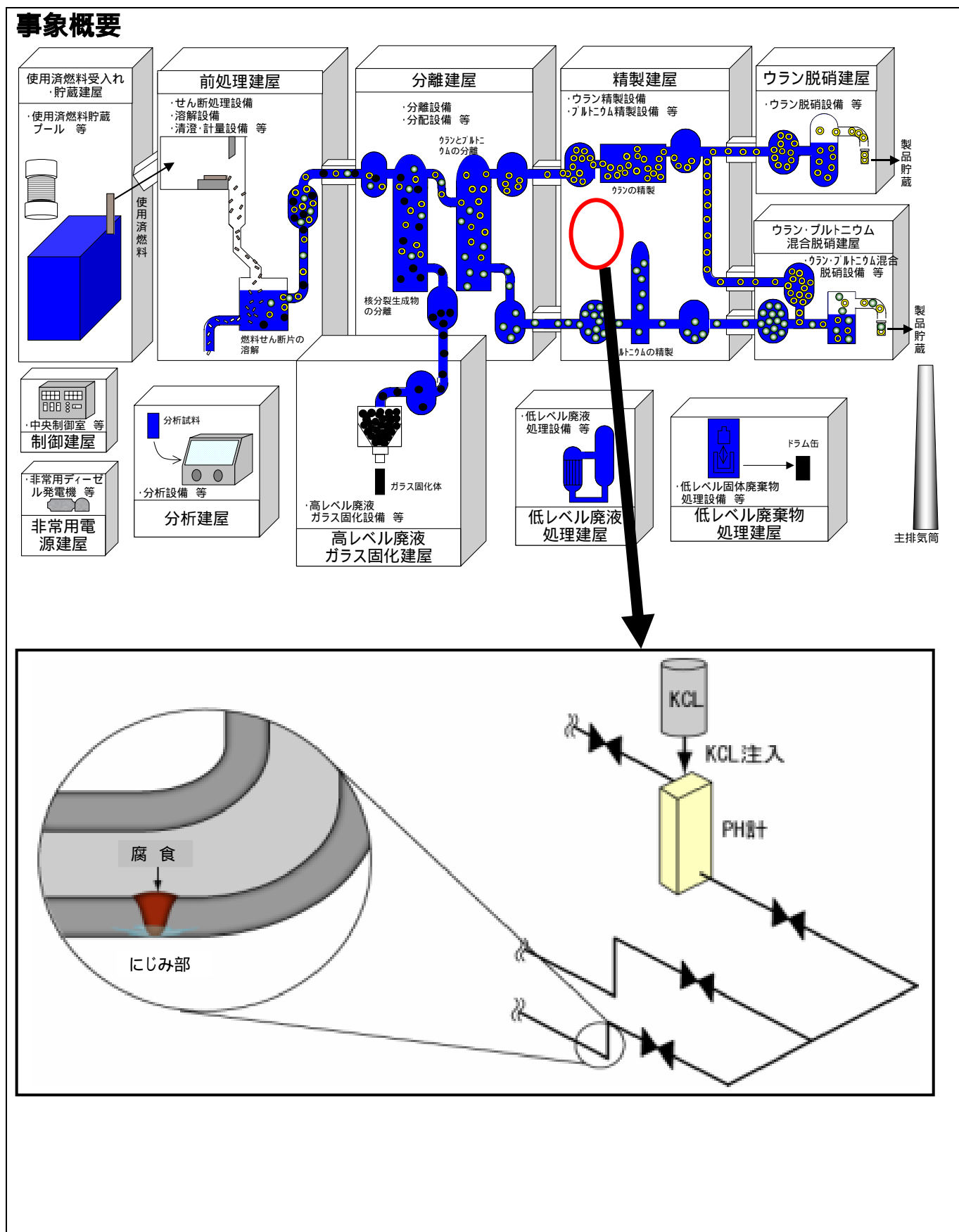
本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 17)

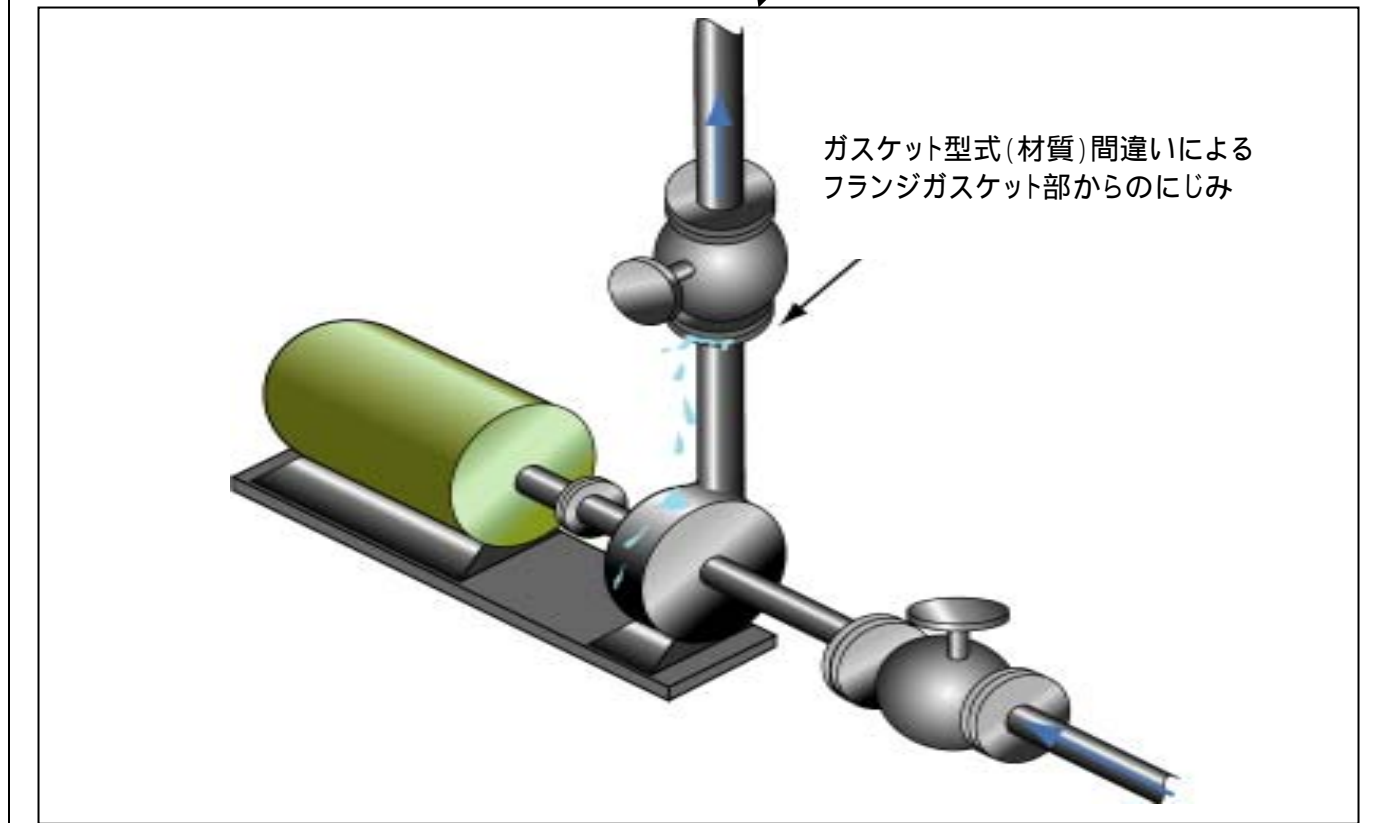
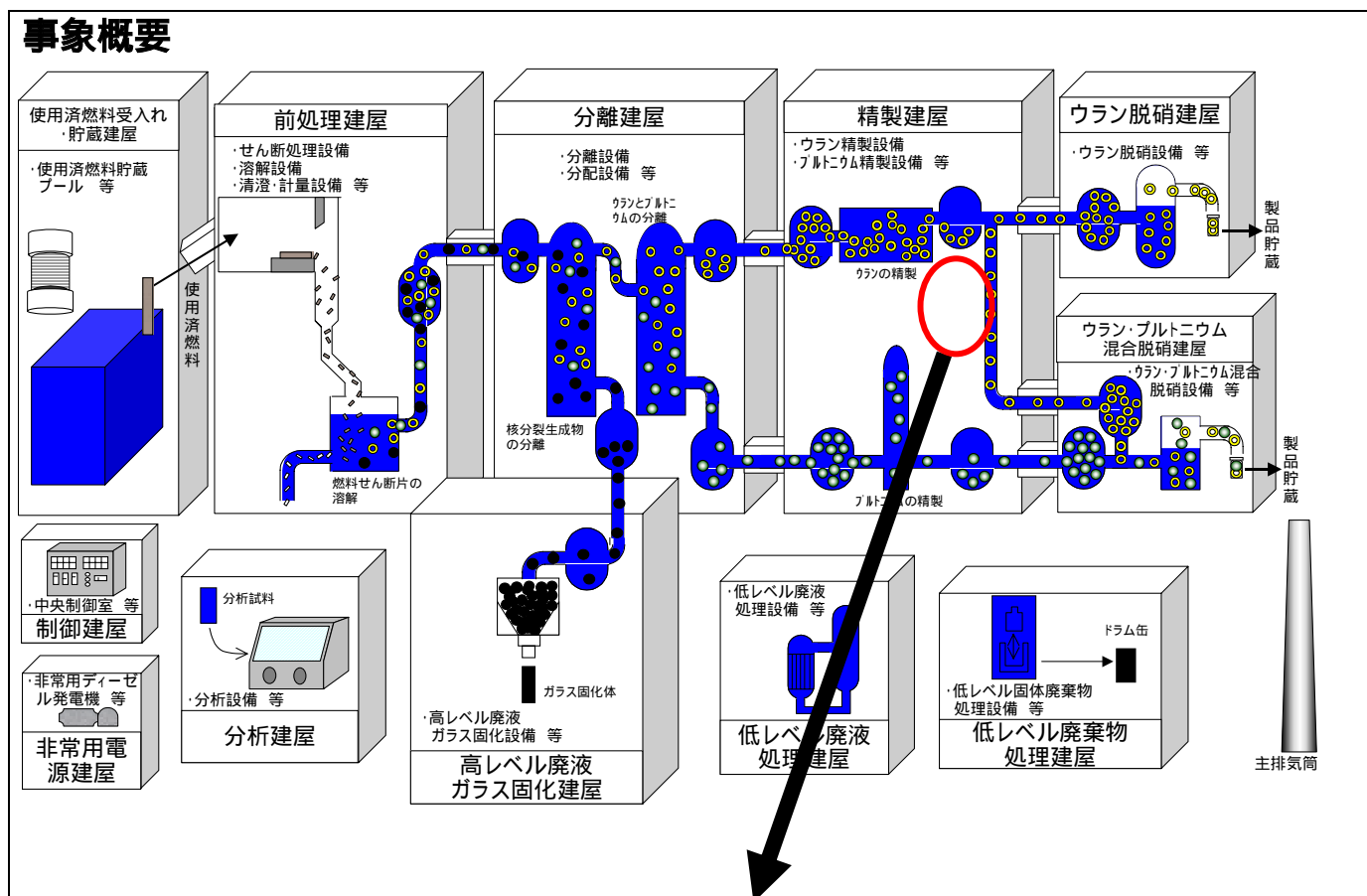
<b>件名</b>	塩化カリウムによる配管腐食部からの漏えい																														
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所・機器 精製建屋：溶媒再生工程</p> <p>(2) 発生の状況 工程停止中</p> <p>(3) 概要 工程停止中に塩化カリウム注入型pH計を取外し忘れていたため、配管内に塩化カリウムが滴下され続け、塩素イオンによる孔食が発生し、配管曲げ部の溶接部から溶液のにじみが発生</p> <p>*他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>																														
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 環境への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 精製建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う配管等の交換工事であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 巡視点検等により漏えいを発見後、漏えい箇所を隔離し、漏えいを停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えい箇所の復旧にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 工程は停止期間中であるため他工程への影響は生じない。</p>																														
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 当該部を含む配管(ライン)を隔離し、配管溶接部からの硝酸にじみ部に養生を行う。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、配管等の交換工事を行う。</p> <p>(3) 交換工事終了後、配管(ライン)からの漏えいが無い事及び性能が確保されていることを確認し、異常のない場合は、定められた操作手順により運転を再開する。</p>																														
<b>公表区分</b>	休祭日を問わず速やかに公表(夜間の場合は翌朝)(プレス公表)																														
<b>対応区分</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 15%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 15%;">(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="width: 15%;">(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="width: 15%;">(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="width: 15%;">(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="font-size: 1.2em;">0 以下 1 2 3 4 5 6 7</span> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 (レベル2以下は工場外への影響はない) <span style="float: right;">放射性物質の外部放出 工場外への影響</span> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 日本原燃による評価: <b>レベル0 以下</b> <span style="float: right;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</span> </td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5" style="text-align: center;">                 運転時稼働範囲からの漏洩等 多重防護の劣化             </td> </tr> </table>		(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止		国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="font-size: 1.2em;">0 以下 1 2 3 4 5 6 7</span>						(レベル2以下は工場外への影響はない) <span style="float: right;">放射性物質の外部放出 工場外への影響</span>						日本原燃による評価: <b>レベル0 以下</b> <span style="float: right;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</span>						運転時稼働範囲からの漏洩等 多重防護の劣化				
	(a) 運転継続しながら復旧	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止																										
	国際評価尺度 (INES) のレベル <span style="font-size: 1.2em;">0 以下 1 2 3 4 5 6 7</span>																														
	(レベル2以下は工場外への影響はない) <span style="float: right;">放射性物質の外部放出 工場外への影響</span>																														
	日本原燃による評価: <b>レベル0 以下</b> <span style="float: right;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</span>																														
	運転時稼働範囲からの漏洩等 多重防護の劣化																														

本事象は工程停止中に発生したもので対応区分該当なし。



## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 18)

<b>件名</b>	ガスケット型式間違いによる配管からの試薬漏えい
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 第2酸回収工程</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験期間中</p> <p>(3) 概要 ポンプの分解点検に伴い、ポンプ取合い配管のガスケットを新品に交換したが、ガスケットの型式(材質)が誤っていたため、通液時に内包する液体(硝酸、その他試薬)のにじみが発生</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 精製建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> にじみ確認後、直ちにポンプの運転を停止するとともに弁を閉止することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> にじみ箇所の復旧にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 当該ポンプの系統は2系統あることから、他工程への影響は生じない。</p>
<b>対応の概要</b>	<p>(1) にじみ発生箇所及びにじみの状況を確認する。</p> <p>(2) にじみが生じている配管系統のポンプを一時停止し、定められた手順に従い、ガスケットの交換を実施する。</p> <p>(3) にじみ箇所復旧後、異常のないことを確認した後、定められた手順に従い運転を再開する。</p>



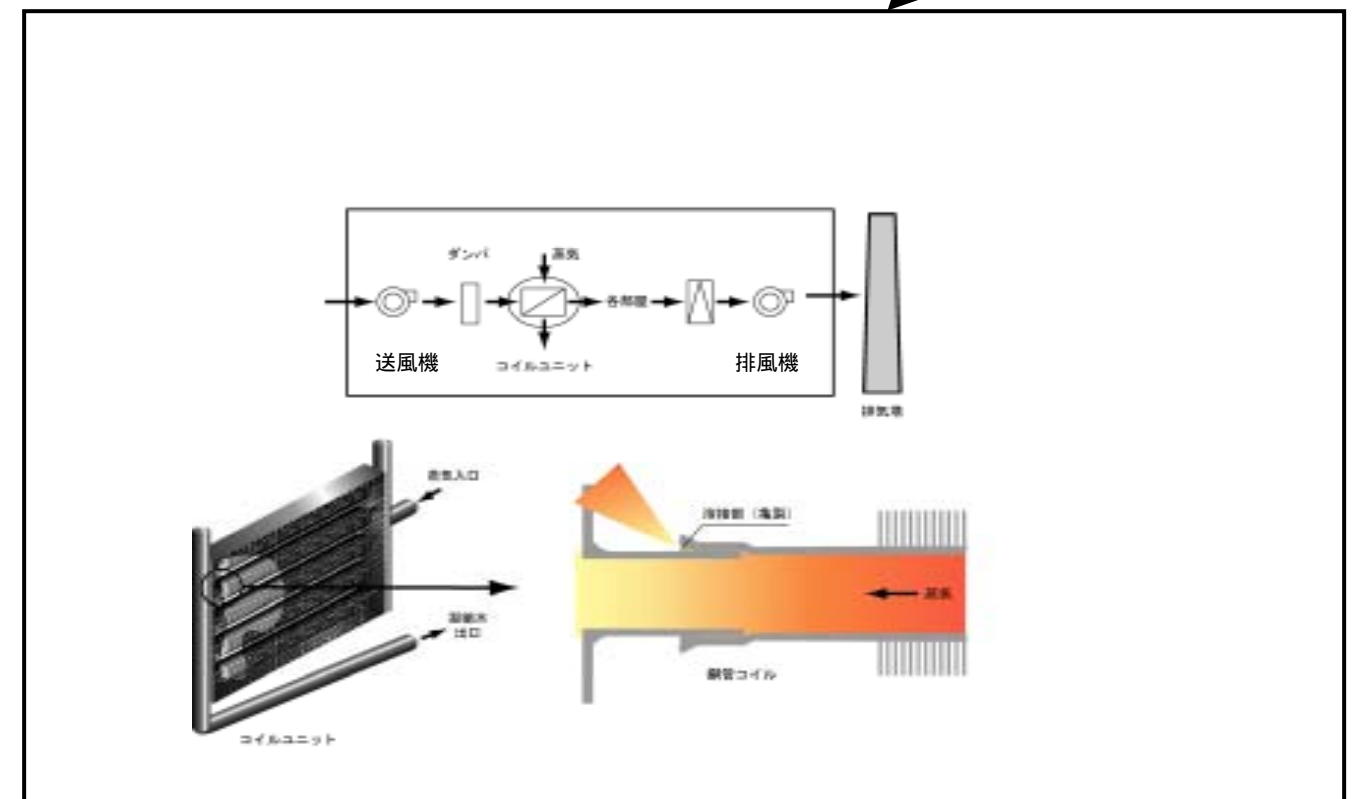
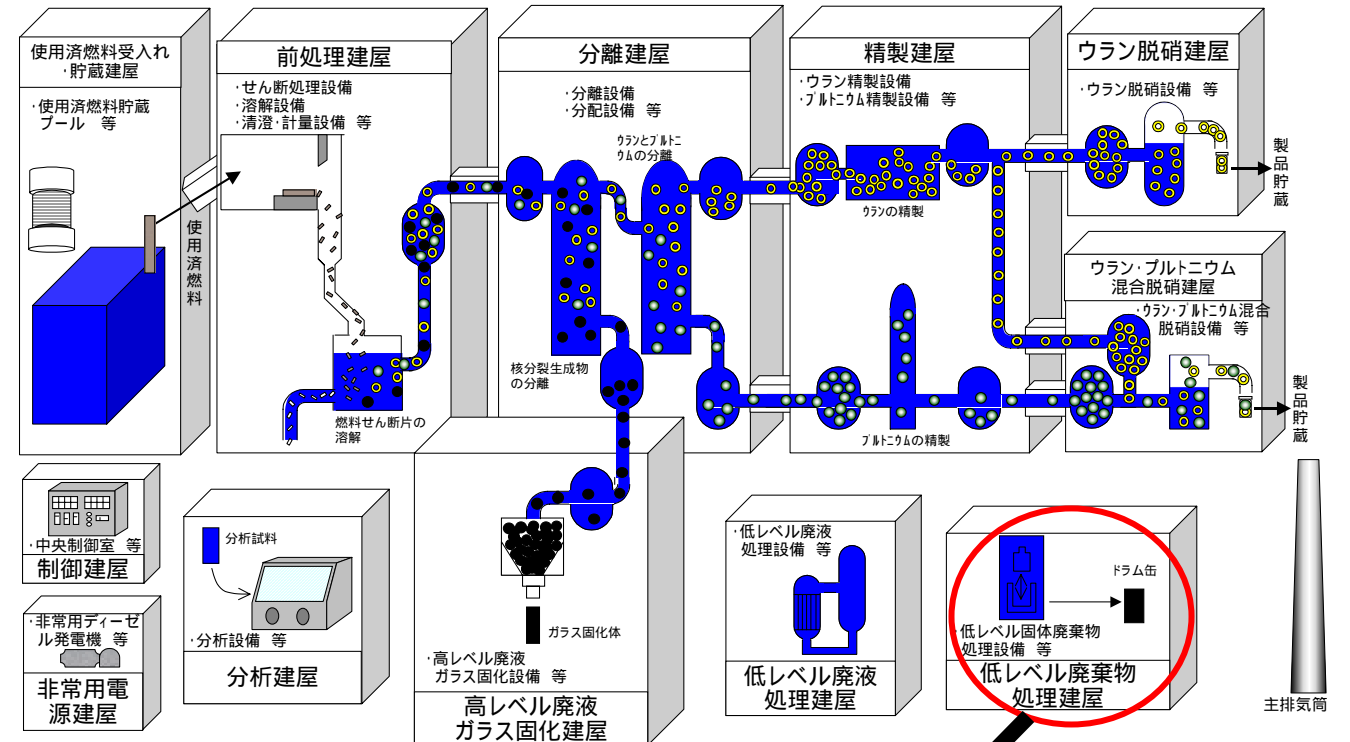
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">国際評価尺度 (INES) のレベル</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">0以下</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">3</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">6</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">7</div> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">(レベル2以下は工場外への影響はない)      放射性物質の外部放出      工場外への影響</p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>      放射性物質による汚染、被ばく等      工場内への影響</p> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">運転時影響範囲からの逸脱等      多重防護の劣化</p>
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 19)

<b>件名</b>	空調機用加熱コイルからの蒸気漏えい
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋: 建屋換気設備空調機</p> <p>(2) 発生の状況 空調機用加熱コイルの蒸気通気中</p> <p>(3) 概要 銅管のコイル溶接部に亀裂が入り、コイルユニットから蒸気が漏えいし、建屋換気設備の一部を停止</p> <p>* 他建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。</p>
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 低レベル廃棄物処理建屋の換気設備が稼働しているエリアでの事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 巡視点検等により漏えいを発見後、漏えい箇所を隔離し、漏えいを停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 放射性物質を含まない蒸気の漏えいであり、放射性物質による汚染・被ばく等の影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 建屋内の温度調整に用いるコイルであり、蒸気を停止しても工程運転に影響は生じない。</p>
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 蒸気供給弁により、当該部への蒸気の供給を停止し、送風機を停止する(排風機は制限運転)。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、コイルを交換または溶接補修する。</p> <p>(3) 交換または溶接補修終了後、蒸気通気を行い異常のないことを確認した後、风量調整弁を開操作し定常運転を再開する。</p>

公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>
	(b) 運転システムを切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	

### 事象概要



## 再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応(No.2 - 20)

<b>件名</b>	燃料貯蔵プール等からのプール水の微量漏えい																																																		
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器</p> <p>(2) 発生の状況</p> <p>(3) 概要</p> <p>燃料貯蔵プール等のライニング接合部において計画外溶接などによりピンホール(微小な穴)等が発生し、プール水が漏えいして漏えい検知装置内で僅かな出水を確認</p> <p>* 他の建屋も含め同種の貯蔵プールにおいても、同様の事象の発生が予想される。</p>																																																		
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響</p> <p><b>工場外への影響は生じない。</b> 漏えい検知装置内への出水事象であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、検知装置内に出水した水は廃液処理設備にて適切に処理する。</p> <p>(2) 安全性への影響</p> <p><b>安全上の問題は生じない。</b> プール水の漏えいは巡視点検又は漏えい検知装置の警報により速やかに検知される。また、出水量が微量なため、プール水の崩壊熱除去機能及びしゃへい機能には影響はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響</p> <p><b>作業員への影響は生じない。</b> 復旧作業は、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って安全に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響</p> <p><b>他工程への影響は生じない。</b> 使用済燃料受入れ・貯蔵施設は既に操業を開始しており、独立していることから、再処理施設本体における試験運転への影響は生じない。</p>																																																		
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 出水を確認した場合は、通常1日1回の監視体制を1日3回に強化する。</p> <p>(2) 出水した水の放射性物質濃度を分析し、漏えいを確認した場合は、直ちに漏えい箇所の特定作業に着手する。</p> <p>(3) 漏えい箇所特定後、漏えい量の多少にかかわらず全てを補修する。補修作業は、他の作業との調整を図り計画を立てて速やかに実施する。なお、漏えい量が目安値1時間あたり10リットルを超える可能性があるとは判断した場合には、現場における他の作業に優先し直ちに補修作業を実施する。</p>																																																		
<b>公表区分</b>	夜間・休祭日を問わず速やかにプレス公表																																																		
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下   1   2   3   4   5   6   7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p style="text-align: right;">放射性物質の外部放出   工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等   工場内への影響</p> <p style="text-align: center;">運転制限範囲からの逸脱等   多重防護の劣化</p>		(a) 運転継続しながら復旧										(b) 運転システムを切り替えて復旧										(c) 当該機器を停止して復旧										(d) 当該設備を停止して復旧										(e) 影響範囲の設備を停止								
	(a) 運転継続しながら復旧																																																		
	(b) 運転システムを切り替えて復旧																																																		
	(c) 当該機器を停止して復旧																																																		
	(d) 当該設備を停止して復旧																																																		
	(e) 影響範囲の設備を停止																																																		

